

広報

YAME

やめ

【今月の主な内容】

平和への誓い新たに

イベント情報

矢部地区観光物産観光施設愛称募集・

岩戸山歴史文化交流館愛称決定

マイナンバー八女市では11月上旬にお届け

考古学や文献からひもとく岩戸山古墳①

2~5

6

8

9

10



広島の心を受け継いで。
被爆アオギリ2世を植樹

広島原爆の火が灯る八女市星野村平和の広場に8月30日、広島市よりいただいた「被爆アオギリ2世」が植樹されました。これは市が開催した「戦後70周年記念事業」の一環として行われたものです。松井一寛広島市長や三田村市長らとともに、地元中学生代表も植樹に参加。「戦争のない平和な世の中であってほしい」との願いを込め植樹をしました。この被爆アオギリ2世の親木のアオギリは、爆心地から13kmの場所で被爆しました。焦土の中で青々と芽吹き返し、被爆者に生きる希望を与えました。その後、昭和48年に平和記念公園内に移植され、今でも樹皮が傷跡を包み込むように成長を続けています。被爆アオギリ2世は、この場所で原爆の火とともに平和を願うシンボルとして、広島的心を受け継いで成長していきます。



2015(平成27年)

No.1077

10



リレートークでは4人のパネラーが平和について言及



平和記念式典に参加した中学生の発表

劇団「大藤」の皆さんの朗読

平和への誓い、新たに

戦後70周年記念事業「平和のつどい」が8月30日(日)、おりなす八女ハーモニーホールで開かれました。広島平和記念式典に派遣された中学生が平和について考えたことを発表し、劇団大藤が「原爆の火」を朗読。リレートークでは、松井一寛広島市長・古賀誠福岡県遺族連合会会長・川崎隆生西日本新聞社社長・三田村統之八女市長が平和について言及しました。

中学生が、市民が、平和を誓う

おりなす八女には1000人を超す人が詰めかけ、会場に入りきれなかった人は1階はちひめホールでモニターにて視聴しました。

八女市では、今年度から市内中学生を広島平和記念式典に派遣する事業を始めました。8月6日に広島市で行われた平和記念式典に参加した市内中学校の生徒10人が、スクリーンに写真を投影しながら式典の様子や、広島で学び、考えたことを発表しました。福島中学校2年の佐藤理子さんは、「被爆した人の姿を再現した人形を見てあまりの衝撃に言葉を失い、被爆の苦しみを痛感しました。また、戦争がなくても、いじめや差別などの問題があれば平和とは言えません。優しい心と思いをやりを持ち、お互いの違いを認め合い誰もが笑顔で過ごせる学校にすることが、平和な世界を築く第一歩になるはずです。広島で学んだことを生かして自分にできることから平和に貢献していきたい」と語りました。

また、黒木町の劇団「大藤」の皆さんが、広島原爆投下の残り火を持ち帰り長年守り続けた星野村の山本達雄さんを題材にした物語「原爆の火」を情感を込めて朗読しました。恨みの火から平和を願う火へ。今もなお燃え続ける原爆の火へ、改めて平和を誓いました。

●平和の歌の合唱

カンタータ『この灯を永遠に「合唱」』(脚本・作詞・作曲 安藤由布樹)と、レクイエム『碑「終章」』(作詞 薄田純一郎・作曲 森脇憲三)を八女ジュニア合唱団の皆さんが恒久平和と核兵器廃絶への願いを込めて歌い上げました。カンタータ『この灯を永遠に』は、安藤氏が星野村を何度も訪れ山本氏から直接聞いた実話をもとに作りました。8月6日星野村で開催される平和祈念式典で、毎年星野中学生により歌い継がれています。レクイエム『碑』は、爆心地から500mの地点で原爆の直撃を受け全員が亡くなった広島二中1年生322人への鎮魂歌として作られました。



八女の地から発信された平和への願い

平和のつどいでは4人のパネラーから平和についての思いが語られました。

「広島は今後も平和の尊さを
次世代に伝える役割を果たす」
松井一寛 広島市長

70年前の8月6日8時15分、忘れられないこの時間に広島に一発の原爆が投下されました。無差別に多くのお年寄り、幼子、女性等いわば罪のない多くの方々が一瞬にして亡くなりました。亡くなった方も地獄ですが、生き残った方も地獄です。両親を亡くし、生きるすべを無くした子どもたち。目に見える障害を負い、その後の社会生活の中で差別を受けてきた人たち。放射線の後遺症で白血病やがん（がん）に苦しみ、働こうとしても働けず社会から疎外されてきた人もたくさんいます。だから被爆してもそれを語る人は少なく、私自身も市長になるまで被爆2世であることは語っていません。終生にわたり身も心も苛まれ続ける、それが原爆です。

被爆者は、原爆を恨み憎みますが、憎んでも自分の人生は戻りません。その思いを私たちは、今回の平和宣言で「広島をまどうてくれ！（戻してくれ）」と言わせていただきました。この言葉に象徴されるようにあの一瞬ですべてが変わって



松井一寛 広島市長
広島市出身。厚生労働省大臣官房総括審議官、中央労働委員会事務局長などを経て平成23年に広島市長就任、現在2期目。

しまったのです。しかし、被爆者の思いは70年の年月を経る中で徐々に変わります。「自分はこんな目にあつたが、子や孫に自分と同じ思いをさせたくない」「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」いろんな思い、経験、恨みや憎しみを超えて初めて出てくる本心に尊い言葉です。被爆者、犠牲者に対し、我々は、二度と同じ過ちは繰り返さないこと、それを約束し実行することで被爆者の思いを昇華することができると私は思っています。

その思いをベースに私たちは、「平和首長会議」の活動に取り組み2020年までに核兵器を廃絶することを目標に運動をしています。世界の都市の首長をメンバーとし現在世界161か国、6700を超える都市が加盟いただいています。その都市の人口を積み上げると約10億になります。世界人口が約70億ですから、世界の7分の1の方々が首長を通じて核兵器廃絶、世界恒久平和に賛同いただいていることとなります。今後、加盟都市数をもっと増やします。それはなぜか。最終的に武力や兵器の保有を判断するのは為政者です。その為政者を支持し、選び、政治を委ねるのは市民です。市民の思いを託す為政者を選んでいくことで、遠回りのようですが世界は変わっていくのではないのでしょうか。

現在、核兵器廃絶の国際世論を拡大する活動、核兵器禁止条約の交渉開始等

求める署名活動などを柱に取り組んでいます。また、さらに加盟都市を拡大するため英マンチェスターや豪ブリスベンなど、世界の約20都市がリーダー都市として市民運動をやつてもらっています。

広島市の思い、心を世界に伝えていく中で、「核兵器が存在する状況で核保有は国の安全保障に関する問題であり、廃絶は困難であり理想論だ」という意見があります。その時に我々は「あまりにも国の立場に特化した考えではないか。戦争は一人一人の殺し合いを認めることになる。もつと一人一人の命を大事にするという発想で国を動かすことができないのか」と申し上げています。理想に近づくためには、市民がもつと平和運動を続けていかねばなりません。

核兵器が必要かどうかの議論は、コペルニクスの転回（天動説から地動説）、いわゆるパラダイムの大転換の議論に近いと思います。核保有国は、核抑止力で平和が保たれているという主張であり、その廃絶に向けては、核兵器、武器を持たないことが絶対安全であることを信じるという基盤が必要です。そういう社会にしないと核兵器に対するパラダイムの転換は起こりません。

今後も広島は、被爆の実相を守り、被爆者の体験と平和への思いを広め、平和の尊さを子や孫の世代にしっかりと伝えるための役割を果たします。核兵器廃絶、世界恒久平和について考えていただくために、今後も活動していきたいと考えています。



古賀 誠
福岡県遺族連合会会長

みやま市出身。父が戦死し女手ひとつで苦勞する母の姿を見て政治家を志す。衆議院議員 10期、H14年から10年間日本遺族会会長を務めた。

「平和憲法に流れる三つの精神
を忘れてはならない」
古賀 誠 福岡県遺族連合会会長

私がちょうど物心ついた時（数えて5つの時）、日本は戦争を終結させました。私の父は、赤紙により昭和17年にフィリピンのレイテ島に徴用され、私たち家族は「昭和19年10月30日レイテブラウンにて没す」と父の死を知らされました。何の遺品も遺骨もなく、ただ粗末な棺の中に公報としてそれが示されただけです。その日が命日なのか私には確認しようもありません。父親のいない貧しい母子家庭の中で、必死で残された姉と私二人を育てるため苦勞している母親の姿、それが私の物心ついた初めての記憶です。私だけではなく、当時、小学校同級生の約3割が父親のいない母子家庭でした。

あの戦争を振り返ると、国の名の下に徴用された兵士の方々が、軍属・軍人の方より多い数になっていました。赤紙招集を受け、南方の灼熱の島々で、極寒の北方の地で尊い命を国に捧げられていく。亡くなった戦死者は260万人と言われています。また、広島や長崎の原爆、国土の空爆や沖縄の地上戦等で亡くなった方々、全部合わせると310万人が大



川崎隆生 西日本新聞
社代表取締役社長
福岡市出身。昭和49年
西日本新聞社入社。国際
部長、経営企画委員長
などを経て平成19年取
締役に就任、翌年から代
表取締役社長を務める。

東亜戦争で亡くなられました。

なぜ軍属や軍人たちよりも、一般国民の犠牲者が多いのか。それはまさに国策の間違いであり失敗だったと、あの戦争を真摯に反省する時にしっかりと直視する必要があります。政治の貧困が、子どもやお年寄りを含めた一般国民を巻き込むまで戦争を長引かせてしまったのです。日本が、戦争の愚かさや平和の尊さを忘れてしまった時代となった時に、過去の過ちがまた繰り返されるのではないかと大変心配しています。「戦争を知る世代が社会の中核の時代はいいが、戦争を知らない世代ばかりになった時、恐ろしいことになる」と先人や先達がよく我々に言い聞かせてきました。私たちの世代が戦没者の遺児としては、戦争の愚かさを知っている最後の世代だと思います。

私が物心ついたとき、母親は必死に働いていました。私は母親が寝ている姿を、母親が死ぬまでほとんど見たことがありません。朝早く起き行商の支度して出かけ、夕方遅く帰り子どもの夕飯の支度をして夜なべを始める。ずっと働いている母親の背中しか知らないのです。しかし、そういう時代を決して無駄にしてはならないと思っています。私はむしろあの苦しい母子家庭の中で育った、私にしかない経験、

喜び、ありがたさもあの時代が教えてくれたと思っています。社会全体が貧しい中にも助け合おうという心の豊かさがありません。自分のことより、この国を再興していこうという輝きがありました。

私は還暦の年に、フィリピンレイテ島を訪れました。父が最期を迎えたその地に立ち、何を考え、何を思いながら死んでいったのか父に問いかけたかったので。故郷の山河よりも残してきた家族のことを思ったのでしょうか。なぜここで死ななければならぬのかと心の整理が付かないまま無念の死を遂げたと思います。

政治の貧困が何を招くのか、このことだけは、私の政治活動の原点として続けてきましたし、現在も遺族会の活動を続けています。我が国の平和憲法、とりわけ9条は絶対に守り抜かねばなりません。平和憲法に流れる3つの精神「平和主義」「主権在民」「基本的人権」、これらを政治に関わる人は忘れてはならない。今後、憲法によって権力者を抑制し、憲法は国民のためにあることを次の世代に伝えていきたいと考えています。これからこのような機会を通して皆さんと平和について意見交換をしていきたいと考えています。

「新聞の役割は地方の価値を高めること、絶対に戦争をさせないこと」
川崎隆生 西日本新聞社社長

この1年間、西日本新聞に限らず、すべての新聞社が戦後70年を大きな節目の年として、戦争に関する人々の証言を集

めてきました。原爆の惨禍や人々の苦しい生活などを報道することで、戦争の悲惨さを語り継いでいくということです。

西日本新聞自体も、8月15日から9回にわたり、「当時我々はどんな報道をしたのか」という検証記事を連載しました。先ほど「政治の貧困」という話がありました。したが、その当時、言論機関にも「貧困」があったのではないかと、政治がおかしくなったのであれば、その時にこそ言論機関としてきちんとそれをただす役割を果たすべきではなかったかと反省させられました。私は新聞記者になって、先輩から西日本新聞の役割は、地方の価値を高めること、それと絶対に戦争をさせないことだと言い聞かされました。これは新聞全体にとっても大きなテーマです。

タイトルを「報国のペン」とした連載の一例を申し上げますと、昭和19年6月17日八幡の空襲がありました。B29による初めての本土襲撃で、大変な被害が出ました。我が社は「犠牲者が地上部隊2人のみ」と報じていますが、実際は女子挺身隊員など257人が亡くなっています。大本営発表の時代、その大きな反省があります。

また、現うきは市出身で西日本新聞の前身である福岡日日新聞の主筆をされた菊竹六敏が、1932年の515事件の際、軍の政治関与を批判し、軍から相応な圧力をかけられましたが、それに屈せず主張を貫いた誇るべき歴史もあります。いわゆる六敏精神として語り継がれているものです。しかし、その数年後の2



会場は満員の聴衆で埋め尽くされました

26事件の際は、新聞はもう軍に反抗する力を持っていませんでした。それから戦争が激しくなっていくわけです。そういう意味で、政治に対する新聞が持つきちんとした視点がなければならぬということとを、この連載を見て改めて考えました。

戦後70年に関する話で心に残ったのが、翁長沖繩知事の「今はイデオロギーの時代ではなくアイデンティティの時代である」という言葉です。アイデンティティは、「一体感」という訳が一番しっくりきます。地方に住む人間が地域の価値をきちんとつないでいくこと、一体感を作ることと東京や中央に対峙して住みよい地域をつくることではないでしょうか。九州はアジアと共に生きていくこうとしています。中には日本とイデオロギーが違う国もありますが、そこも「アジアの一体感」として戦争のない平和な友好・交流関係を守って行く必要があります。それが我々メディア、ジャーナリズムにとって重要な使命ではないかと考えています。

「美しいふるさとが、いつまでも平和でありつづけるような取り組みを」 三田村統之 八女市長

私はいつも「平和」と「子育て」とは、「親子」や「家庭」といった部分で、大変強い関係があると考えています。普段、平和への取り組みとしてまず頭に浮かぶのは、軍備や外交といった大きくて、私たちの日常からは少し遠い感じの事柄ですが、実は「一家団欒」や「親子の絆」というものが、「平和な社会」にとつてとても大切なものではないかと考えています。八女市においても、3387人の方々が戦争によって尊い命を落とされました。また、広島では原爆で14万もの方々が犠牲になられたと伺っており、その後も多くの方が原爆の後遺症に苦しんでおられます。戦没者、戦傷病者ご本人の無念さはもちろんですが、今日までのそのご家族、ご遺族の悲しみはどれほどのものであったかは、想像に難くありません。皆さんの深い悲しみや絶望が、「二度と戦争があつてはならない、起こしてはならない」「我が子を戦地に送らない」という強い思いに昇華し、現在の「平和で豊かな社会」をどっしりとした礎で支えているのだと思います。

今も星野村に灯り続ける「平和の火」は、星野村出身の山本達雄氏が、原爆で焦土と化した広島の本屋の地下倉庫にくす



三田村統之
八女市長。八女市議会議員2期、福岡県議会議員を5期、平成17年には県議会副議長を務めた。平成20年に八女市長就任。現在2期目。

ぶつていた火を、カイロに移して持ち帰られたものです。この書店は、山本氏を父親代わりに育ててくれた叔父さんが営まれていたものであり、またカイロは出征時におばあさんが持参させてくれたものであったと伺っています。そして、叔父さんと多くの原爆犠牲者の供養として、長く山本家の仏壇に灯され続けていたのです。この話は、昭和40年代に全国紙で報道されたことをきっかけとして世に広まり、後に作曲家の安藤由布樹氏によりカンタータ「この灯を永遠に」として作品化されました。この曲は今でも全国各地、海外でも歌い継がれおり、毎年8月6日に星野村で開いている平和祈念式典においても、星野中学校の生徒により合唱されています。

歴史に学べば平和は本当にもろいもので、ほんの小さなきっかけで壊れ、たちまち大きな戦争に進んでしまうことがあります。先人が残してくれた「平和への思い」や広島から全世界に発信され続けている「非核の願い」が、今日の私たちに「平和で豊かな暮らし」を享受させてくれます。だから私たちはいつも、先達の苦勞に感謝しながら生きてゆかねばなりません。また同時に、この平和な社会とその豊かさを、確実に次の世代に引き継いでいかねばならないと思います。筑紫君磐井や南北朝動乱のドラマなどの悠久の歴史が流れ、茶の香りとともに白壁の町並みや伝統工芸が息づく、この美しいふるさとが、いつまでも平和であり続けるように、この八女の地から平和への取り組みを続けていきたいと考えています。

八女とアジアの平和友好に関する話で、立花町白木地区で生を受けた大内暢三という人がいます。明治末から昭和初期にかけて国会議員をした偉人ですが、私は別のことに注目しました。彼は戦前中国の上海にあった東亜同文書院の院長を務めました。そこは中国人、日本が一緒に学びアジアの平和について考えた大学です。大内は院長時代にずっと戦争拡大を反対し、日本と中国また韓国との友好について問い続けました。そこで学んだ学生たちが大内の死後、その遺志をついで、今の隣国の関係を築いてきました。今、中国や韓国とのつきあいが難しい時代ですが、この八女には昭和19年に亡くなった、大内暢三のような時代の道標になるような偉人がいたことを誇りに思っていると思います。だからこそ、この八女から平和について発信できるのではないかと思います。大内暢三が目指した、また広島市長がおっしゃった人類愛、寛容さを今こそもう一度かみしめながらこのリレートークをまとめたいと思います。



飯田 和郎
RKB 毎日放送取締役
東京都出身。昭和58年毎日新聞社入社。中国総局長、外信部長などを歴任。平成25年RKB毎日放送入社。同年6月取締役に就任。

「八女には隣国との友好を問い続けた大内暢三がいたことを誇りに」 飯田和郎 RKB取締役

mayor's column

市長コラム 災害に強いまちづくり



この夏、青森市で開催された「青森県市町村長トップセミナー（防災危機管理ラボ）」で講演を行いました。これは、消防庁、青森県、消防科学総合センターが主催する青森県内の市町村長等を対象とした研修会で、九州北部豪雨の災害対応についての講演依頼を受け出席したものです。▼講演では、災害状況にあわせ、行政の災害対応、復旧事業、被災者支援等について、体験談を交えながらお話をさせていただきました。▼近年、異常気象に伴う大雨や台風、地震、竜巻等、甚大な被害を及ぼす自然災害が全国各地で毎年のように発生しています。万が一被災した際の対応策を誰もが考えておく必要があります。出席された青森県内の市町村長の皆さんも熱心かつ真剣に講演を聞いていただき、講演後の質疑応答も熱が入ったものになりました。▼災害を契機に、市民の皆さんの間に「自分たちの地域は自分たちで守る」という積極的な防災意識が生まれてきているのを肌で感じます。講演でもそのことを紹介させていただきました。市民一人ひとりの日頃の自助努力と行政の施策とを上手く噛み合わせながら、今後も災害に強い、安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいと考えています。

三田村統之



八女上陽まつり 11月14日(土)・15日(日)

- 主催者が準備した「きんま」に俵400kg(レディースの部は200kg)を載せ、42・195メートルを駆け抜けます。
- 「きんま」は「木馬」と書き、上陽地区では山から木材を搬出するために利用した木のソリです。このきんまを引いて、速さやパフォーマンスを競います。
- 期日 11月15日(日)
 - 会場 春の山公園
 - 応募資格 ①【一般の部】中学生以上で1チーム5人以内、男女割合の制限なし
 - ②【レディースの部】中学生以上の女性5人以内
 - 優勝賞金 ①【一般の部】30万円
 - ②【レディースの部】10万円
 - ※ パフォーマンス賞のほか、各賞もあります。
 - 申込締切 10月16日(金)必着
 - 申込・問い合わせ 上陽支所建設経済課 (☎54・2219)

全日本きんま選手権大会出場チーム募集中!

- ジュニアきんまレースも出場チーム募集中!**
- 主催者が準備した「きんま」に俵(小学4年生以下の部は80kg、小学6年生以下の部は120kg)を載せ、42・195メートルを人力で引いて速さを競います。
- 期日 11月14日(土)
 - 会場 春の山公園
 - 応募資格 ①小学生1チーム3人以内(男女割合の制限なし)
 - ②優勝賞品 上陽牛10頭
 - 申込締切 10月16日(金)必着
 - 申込・問い合わせ 上陽支所建設経済課 (☎54・2219)
- その他のイベント**
- 14日(土) 和太鼓「童衆」演奏、開運収穫もちまき大会、仮面ライダーゴーストショー、ダンススクール
 - NEW CHILDRENS
 - 15日(日) 八女学院中学・高等学校吹奏楽部演奏

ゲストコメンテーターは
杉山 39 さん!



「八女くろぎふるさと祭り」出場者・出店者を募集します

「子ども相撲」参加者

- 日時=11月1日(日)10時～
 - 場所=駅跡イベント広場土俵
 - 内容=(団体戦)低学年1人、中学年2人、高学年2人で1チーム
- (個人戦)低学年・中学年・高学年の部
- ※相撲大会後、東関部屋の力士とのぶつかり稽古
- 参加料=無料
 - 募集締切=10月23日(金)
 - 問い合わせ=川島茂夫さん (☎42・1276)



「紅葉ウォーク」参加者

- 日時=11月1日(日)10時スタート(9時30分受付)
- 内容=7kmコース
- 集合場所=グリーンピア八女「体育館前イベント広場」
- コース=体育館前イベント広場～どんぐり拾いの小道～泉と小島への散歩道～山中溪谷～えがおの小路～体育館前イベント広場 ※変更の場合あり
- 参加資格=健康に自信がある人(小学生以下は保護者同伴)
- 参加料=700円(温泉券・味噌飯・だご汁付)
- ※当日受付時に徴収します
- 募集締切=10月23日(金) ※当日受付可



「フリーマーケット」出店者

- 日時=11月1日(日)10時～16時
 - 場所=駅跡イベント広場
 - 区画=1区画2m四方(1団体につき最大2区画まで)
 - 出店料=500円(1区画) ※申込多数の場合は抽選
 - 募集締切=10月9日(金)
- ※区画割り当ては、実行委員会で行います。
- ※出店場所や周辺を必ず清掃し、ゴミは持ち帰ってください。



「物産店」出店者

- 日時=11月1日(日)10時～16時
- 場所=駅跡イベント広場
- 出店料=3,000円(1区画)
- 参加資格=市内にお住まいの人、もしくは市内で事業をされている人
- 募集締切=10月9日(金) ※申込多数の場合は抽選



● 申込・問い合わせ=八女くろぎふるさと祭り実行委員会事務局(黒木支所産業経済課) ☎42・1115 ☎42・0172



通信指令業務の共同運用が始まります

11/17(火)
運用開始

平成27年11月17日から筑後地域消防指令センター（久留米市山川沓形町）で、通信指令業務の共同運用が始まります。これは、八女消防本部を含む筑後地域の8消防本部がより迅速かつ広域的な消防活動を行うために共同で整備するもので、現在、各種システム等の調整を進めています。

管轄区域

八女市・広川町・久留米市・小郡市・うきは市・太刀洗町・大木町・大牟田市・柳川市・筑後市・大川市・朝倉市・筑前町・東峰村・みやま市 ※10市4町1村で人口約93万人、面積約1660平方キロメートル

119番通報の方法や出動体制に変更はありません

火災・救急などの緊急時の通報は、今までと同じ「119」です。ただし、指令センターでは、8消

火災・救急など
119番通報の際は
「八女市〇〇」と必ず市町村から伝えてください。

防本部管内すべての119番通報を受信するため、通報するときには必ず災害が発生した場所の「市町村」から伝えてください。指令センター職員も必ず確認するようにしています。また出動体制にも変更はありません。救急車や消防車は、今まで通り八女消防本部の消防署または分署から出動します。

災害案内の番号が変わります

現在、災害案内は0943・22・7000で自動音声案内を行っています。11月17日以降は「0180・999・834」で自動音声案内を行います。おかけ間違いのないようお願いいたします。また現在では災害案内の回線数に限りがありますが、共同運用後は無制限となります。火災の問い合わせ等については、災害案内を利用していただきますようよろしくお願いいたします。

●問い合わせ 八女消防本部予防課（☎24・1119）

探検 筑後七国スタンプラリー

ただ今開催中～1月11日(祝)まで
筑後七国商工観光推進協議会（筑後市・八女市・柳川市・大川市・みやま市・広川町・大木町および各自治体にある商工会議所、商工会）では、広域観光企画として「筑後七国スタンプラリー」を開催中です。

攻略スタンプラリー
イベントスタンプラリー

2つの
スタンプラリー
で七国制覇！



◆攻略スタンプラリー

筑後七国5市2町に、それぞれスタンプの置いてある秘密の場所（観光地）が1～2か所あります。その場所を、ヒントを頼りに探してください。七国それぞれ特定のスタンプ印を台紙の指定された場所に押して応募すると、スタンプの数（7・5・3個）に応じてすてきな賞品が抽選で当たります。

◆イベントスタンプラリー

筑後七国それぞれのイベント期間中にだけ、会場にイベントスタンプが設置されます。ヒントを頼りに探して七国スタンプを押すと、スタンプ数（5・4・3個）により抽選で賞品が当たります。※それぞれのスタンプラリーは応募ががきが違いますのでご注意ください。

◆スタンプ台紙設置場所

▽茶のくに八女観光案内所▽

八女商工会議所▽八女市商工会▽市役所各支所※八女市ホームページからダウンロードできます。

◆スタンプ印設置場所

▽攻略スタンプラリー各市町に1～2か所▽イベントスタンプラリー各市町に1～2イベント

◆賞品

▽七国賞Ⅱ7本▽五国賞Ⅱ25本▽三国賞Ⅱ70本▽恋ぼたる賞Ⅱ100本※応募多数の場合、同協議会で抽選を行います。

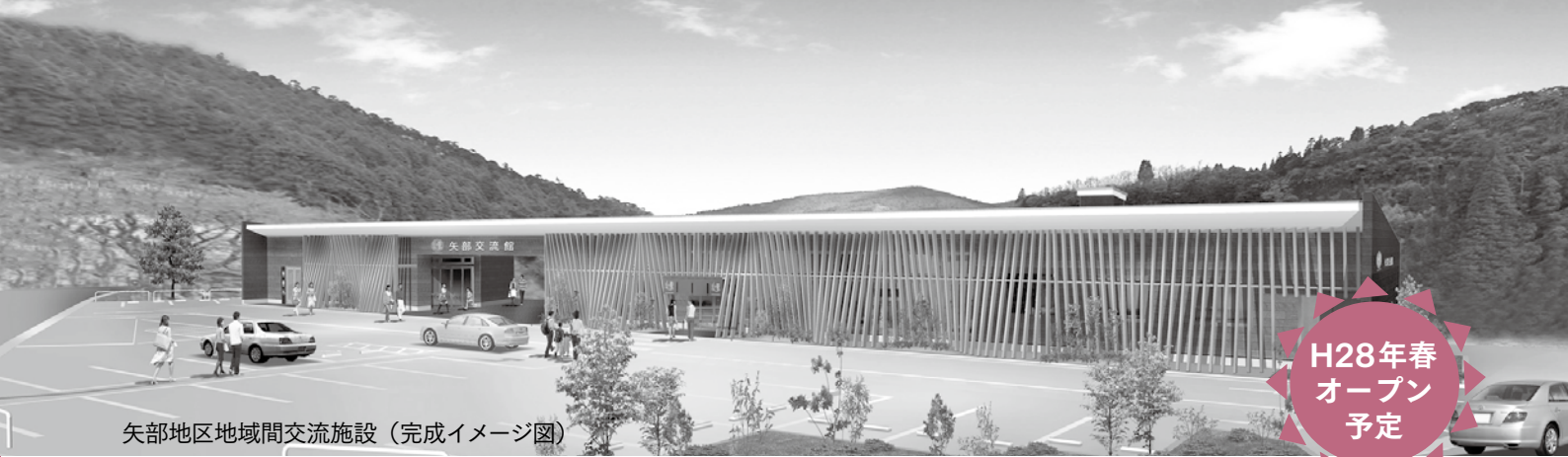
◆応募方法

来年1月11日(祝)までに、スタンプ印設置場所にある応募箱に台紙を入れるか、台紙に必要事項を書いて切手を貼って郵送してください。

◆問い合わせ

同協議会事務局（筑後市役所 商工観光課 ☎0942・65・7024）

筑後地域消防指令センターイメージ



矢部地区地域間交流施設（完成イメージ図）

H28年春
オープン
予定

矢部地区観光物産 交流施設の愛称を募集

八女市矢部地区の旧福岡県

八女森林組合矢部支所跡地に
建設中の「八女市矢部地区観
光物産交流施設」が、平成28
年春にオープン予定です。

観光情報を発信するイン

フォメーション、特産品等を取

りそろえた物産スペース、地元

の料理を提供する食事スパー

ス、来場者が休憩し、くつろげ

る空間やトイレを整備します。

皆さんが気軽に立ち寄り、八

女市の魅力を発信できる施設

となるような愛称をご応募く

ださい。

★応募方法等

▽市内外を問わず、どなたで

もご応募できます。

▽お一人何点でもご応募できま

すが、異なる作品に限ります。

▽郵送、ファックス、Eメール

または直接ご持参によりご応

募ください。また、八女市ホー

ムページの応募フォームにより

直接応募することもできます。

▽様式の指定はありませんが、

愛称、命名の理由やコメント、

お名前（ふりがな）、住所、年齢、

電話番号を必ず「記入くださ

い。

★応募期間

10月5日（月）～10月26日（月）※郵

送の場合、当日消印有効です。

★賞品

採用作品 1点（八女の特産

品）

★発表

▽採用者には直接通知します。

▽決定した愛称は、広報やめ、

ホームページで発表します。

★その他

▽採用作品に関する諸権利は、

八女市に帰属します。

▽応募作品は自作かつ未発表

のものとし、第三者の権利を

侵害しないよう十分配慮して

ください。

▽応募作品は返却しません。

▽応募者の個人情報、愛称

募集の目的以外には使用しま

せん。

★応募・問い合わせ

八女市役所企画振興部企画財

政課（〒834-8585

八女市本町647番地）

☎24・9009（直通）

☎22・2186

✉ kikakuzaisei@cityame.lg.jp

11/29
（日）からご利用
いただけます



岩戸山歴史文化交流館

愛称決定！ 「いわいの郷」

全国から 442 点のご応募ありがとうございました

「八女市岩戸山歴史文化交流館」の
愛称を募集したところ、市内は
もとより、全国各地から述べ442点
の応募がありました。厳正なる審査の
結果、郷土の英雄「筑紫君 磐井」が
活躍したであろうこの八女の地に愛着
が生まれ、市民の皆さまが郷土にさら
なる親しみを感じていただけるような
愛称として「いわいの郷」に決定しま
した。その他、入賞5点が選定されま
した。応募いただきました皆さまに、
厚く御礼申し上げます。

★採用作品応募者

末崎博之さん（市内在住）

命名の理由・コメント

「八女には筑紫君磐井が造った岩
戸山古墳や石人・石馬などがあり、
古代の雄『磐井』と八女の豊かさ
を、親しみを込めて表現しました」

八女市岩戸山歴史文化交流館「い
わいの郷」は、岩戸山古墳をはじめ八
女古墳群から出土した資料を展示す
るとともに、各種体験事業やイベント
等の情報発信を通じて、世代や地域
を超えた交流と郷土愛が育まれる施
設を目指し、11月28日（土）に開館しま
す。（一般の皆さまのご利用は29日（日）
からとなります）

★問い合わせ 八女市岩戸山歴史文

化交流館「いわいの郷」（〒834-

0006 八女市吉田1562-1）

☎24・3200

けする予定です。



お届けした封筒は
大切に保管してください。
同封している「通知カード」は絶対になくさないよう
にご注意ください。

「簡易書留」で
お届けします



封入されているものは以下の4点です

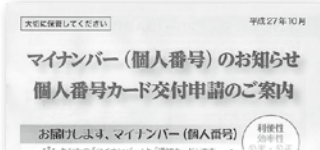
①宛名台紙



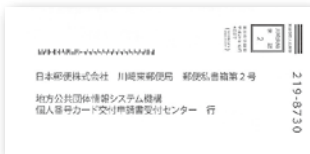
②通知カードと個人番号交付申請書
(世帯全員分がまとめて入っています)



③説明用パンフレット
(8 ページ 3 つ折り)



④個人番号カード申請書の 返信封筒

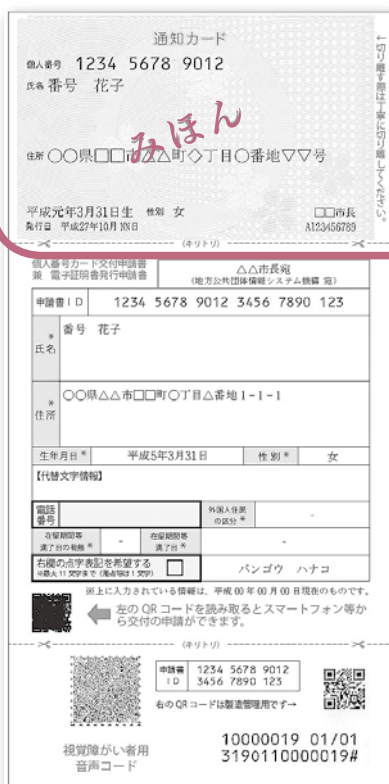


【通知カードについて】

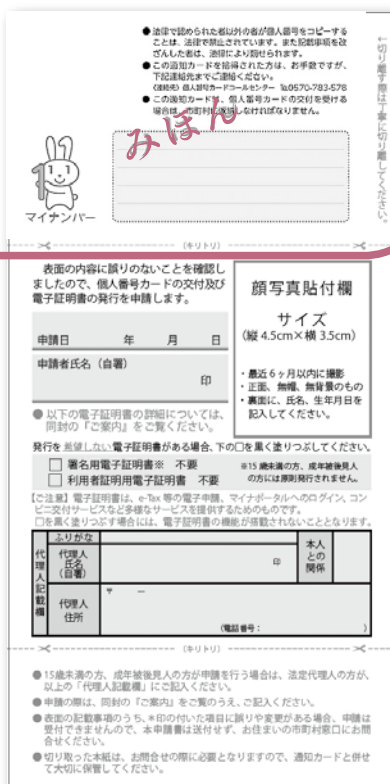
通知カードの有効期限はありません。

平成28年1月以降、市役所の手続きなどさまざまな手続きで必要になりますので、大切に保管してください。

「通知カード」は切り取って大切に保管



おもて面



うら面

詐欺行為に注意！

マイナンバーに関する不審な電話がかかってくる事案が発生しています。ご注意ください。「お金を支給するので振込先の口座番号を教えてほしい。マイナンバー制度が始まると手続きが面倒になる」「マイナンバー制度に伴い、個人情報調査している。資産状況を把握していないといけない」など、マイナンバーをかたった不審電話や訪問勧誘、便乗詐欺の事例が報告されています。

マイナンバー制度で、電話で個人情報聞き出したり、伺って口座や資産の情報を聞くことは絶対にありません! お配りしている小冊子をしっかり読んで、どんな時にマイナンバーを使うのか確認しておきましょう。また、情報を提供する時には、提供する相手と利用目的を必ず確認するようにしてください。



考古学や文献からひもとく岩戸山古墳①

八女市岩戸山歴史文化交流館オープンを記念し、3回シリーズでおおくりします。

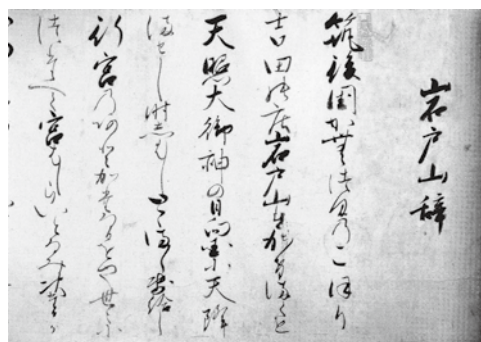
「岩戸山古墳」 古文獻に探る地名の由来

もう20年以上も前のことですが、長峰小学校講堂で岩戸山古墳に関する講演会がありました。一人の小学生が質問に立ち、「なぜ岩戸山というのですか」と尋ねましたが、主催者側からの明快な返答がないまま講演会が終了したことを思い出します。

その時の小学生も現在では30歳代かと推察しますが、当時の情報量を窮う一つのエピソードかと思っています。

岩戸山（地名）の初見は

地名の岩戸山が、史料の中に初めて出るのは管見の限り、『寛文十年久留米藩社方開基』（1670）で、「一、岩戸山 松尾大明神」とあります。しかしここでは、なぜ岩戸山なのか、という地名由来については説かれて



「岩戸山辞」の頭書の部分
倉員市右衛門筆、文化6年（1809）

いません。

江戸時代中頃に古賀組大庄屋（現在の広川町古賀）を務めた、稲員孫右衛門安則が記した『家勤記得集』（元禄9年・1696）では、吉田村北の岡と表現し、古墳や石人石馬の存在を指摘して、丘陵一帯を人形原と称することなどを説明していますが、岩戸山という地名の由来には全くふれていません。

岩戸山に関わる二つの古文書

横山茂利さん（故人）が筆者の所に「筑後国上妻郡吉田邑岩戸山由来」と題する古文書のコピーを持参されたのが平成10年4月のことで、初めて岩戸山の地名由来に関する史料に接することができました。文中には「水精堂千葉一陶、おそれミつつしミ筆を染るは文化六巳（1809）年弥生月初の日」とあります。水精堂千葉一陶なる人物には興味津々ながらも、さっぱり分りませんし、筆者が読んだのはコピーで、そのオリジナルがどこの誰の所蔵なのかは、今なお分からずじまいです。

ひよんなきつかけで、久留米市在住の方が「岩戸山辞」と題する3・86頁にも及ぶ長文の巻物を所蔵されることを知りました。つてを頼って

解説と活字化の承諾をいただきしました。文言はというと実にくどく難解な言い回しの上、変体仮名には苦労しました。

読み終えてみると、「岩戸山辞」には落款も整っており、「筑後国上妻郡吉田邑岩戸山由来」の原本であると確信するに至りました。余談ながら「岩戸山辞」は後日に筆者が譲り受け、現在は広川町指定文化財（古文書）となっています。

天の岩戸に由来する地名だった

「岩戸山辞」によりまずと、（前略）筑後国かむつまのこほり吉田の庄岩戸山は、かけまくも天照大神の日向国に天降ませし時、しはしととまれせ給し行宮のあとかたなるをや（後略）

とあり、また巻末の追記には、一、同岩戸山と名つけしは、岩穴あるゆへ、天の岩戸の故事をおもいとりて、名つけつらん

のように述べられています。さて水精堂千葉一陶なる人物ですが、「奇聞雑記」（編者年代不詳）の中に「六助の鎧」の一項があつて、（前略）爰に上妻郡吉田村の住、下見役倉員市右衛門字ハ一陶（後略）とあつて、ここに人物の特定ができた次第です。

岩戸山という地名呼称は、江戸時代の初期には既に地元にあつたものの、その由来については周知され

ものではなかった。その由来を理論づけたのがこの「岩戸山辞」（文化6年・1809）にほかなりません。

倉員市右衛門が「岩戸山辞」を著して4年後の同10年、日向佐土原の修験者である野田成亮が、岩戸山古墳を訪ねています。彼は、稲妻や人形が原の魂よばい」の句が、向井去来の作であると指摘したことでも知られています。彼が残した「日本九峰修行日記」の中に、（前略）当処（馬場村）より戌亥（北西）に当たり一里に、吉田村と云ふがあり、此所へ岩戸山とて高さ九八間、廻り一丁半の山あり。上に天照大神を勧請せり。此神明日向の天の岩戸より飛来り玉ふと伝ひ伝ふ（後略）。このような記述があります。

野田成亮が岩戸山古墳を訪ねた折には、地元に住み岩戸山の由来などに詳しい倉員市右衛門に会つて、何やかやと情報交換をしたのではないかと考えてなりません。その結果として「日本九峰修行日記」の記述に結びついたのではと、想像をたくましくしています。

天孫降臨・日向神・天の岩戸そして岩戸山へと連なる日本神話。そのロマンを巧みに組み立てながら、「三重県伊勢より当地の方が古い」と説いた、往時の村人たちの心意氣に、心から喝采を送りたいものです。

（福岡県地方史研究連絡協議会副会長 佐々木四十臣）



10月の
横町町家
交流館の
催し

水墨画展

八女市横町町家交流館10月の企画展は水墨画展を開催します。

今回の作品展は、八女地区で水墨画の創作活動を行っている有志が、今年のテーマである「茶」を題材とした作品や、それぞれの思いを込めて描いた作品を展示します。

墨の濃淡と筆使いだけで表現された作品から微彩色を施した作品まで、奥深く味わいのある水墨画の世界を、どうぞご覧ください。10月24日(土)に琴の演奏もあります。

- 期間 10月24日(土)～10月25日(日)
- 会場 八女市横町町家交流館
- 問い合わせ 同館 (☎23・4311)



浦安の舞

大仙公園祭

おそろまこうえんさい

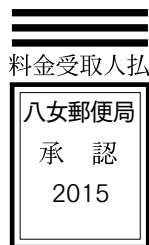
今から約600年前の南北朝時代、南朝の再興を願いながら矢部の地で逝去された後征西將軍良成親王。毎年親王の命日に当たる10月8日に御墓のある大仙公園で「大仙公園祭」が行われ、地元の人による公卿唄や浦安の舞等が奉納されます。

会場は駐車場が狭いので、当日は矢部支所から送迎バスを運行します。参加される人は、送迎バスをご利用ください。

- 日時 10月8日(木)10時～
- ※送迎バスは8時30分から、矢部支所と大仙公園の間を随時運行します。
- 会場 大仙公園(矢部村御側)
- 問い合わせ 矢部支所総務課 (☎47・3111)

キリトリセン

郵便はがき



834-8790

差出有効期限
平成28年6月
30日まで

〈受取人〉

八女市本町647番地

(切手不用)

八女市長 行



8348790

7

キリトリセン

《回答が必要な方は、住所・氏名・電話番号の記入をお願いします。》

ご住所

(フリガナ)
お名前

年齢 歳 (性別) 男・女 ☎

あなたの声を届けてください！

皆さんが日ごろ八女市に対して思っていることを、市長に届けてください。将来の八女市づくりのため問題点は改善し、建設的な内容については実現に向けて努力してまいります。なお、市の事務と関係のないものについては回答しておりませんので、ご了承ください。

○市長室直通ファクスも市内からは無料でご利用いただけます。

0120・24・4554 (フリーダイヤル)

県指定文化財
木造聖観音立像

提灯願い大祭

猫尾城2代目城主・黒木四郎の等身大で作られたという「木造聖観音立像」を祀る御堂への参道に提灯を掲げ、願いを捧げる祭りです。提灯に明かりが灯る夕方、幻想的な雰囲気を求め多くの見物客が訪れます。当日は護摩焚きや、だご汁の振る舞いなどがあります。

- 日にち=10月4日(日) 朝から夕方ごろまで ※護摩焚きは16時～
- 場所=黒木町北木屋
- 問い合わせ=文化課 (☎23・1982)

市指定無形
民俗文化財

土橋八幡宮神幸行事

往路・土橋八幡宮から稲富のお旅所へ、復路・稲富のお旅所から土橋八幡宮へと、神輿・神楽隊・獅子舞などが福島町の町中を練り歩きます。

- 日時=▽往路 10月17日(土)15時～▽復路 10月19日(月)15時～
- 場所=福島町の町中
- 問い合わせ=地域づくり・文化振興課 (☎24・8163)

台風第18号等大雨
災害への募金の取
り組みについて

各施設の窓口に募金箱を設置していますので、市民の皆様からの募金をお願いします。八女市として日本赤十字社へ送金します

- 設置場所=市庁舎、各支所、市の施設の窓口
- 募金期間=10月31日(土)まで
- 問い合わせ=防災安全課 (☎23・1731)

消費生活 そうだん

⑩

クーリングオフができない!?

クーリングオフは「無条件解約」です。訪問販売や電話勧誘販売、塾やエステなどの販売方法で契約した場合や、その他法律で定められた契約に関して、条件（違約金や損害賠償など）なく解約することができます。

クーリングオフをすると、契約する前の状態に戻ることになります。商品は返品し、支払った金額は、全額返金されなければいけません。ただし、クーリングオフができない場合もあります。

①店舗や通販など自分から購入する意思を表して契約した場合。（キャッシュセールス等、不意打ちで誘われ、店舗に出向いてした契約は訪問販売にあたる可能性があります）

②3千円未満の契約。



③クーリングオフ期間を過ぎてしまった。（訪問販売や電話勧誘販売、塾やエステは8日間、内職や連鎖販売は20日間）

④法律でクーリングオフが認められない場合。（乗用車・通信契約金融商品など）

⑤訪問販売であり、クーリングオフができる場合でも、商品を使用・消費してしまった場合。（健康食品・化粧品・洗剤など）※販売員から誘導され開封してしまった場合は、クー

リングオフできます。

よくトラブルになるケースとしては、「インターネット通信契約を電話で勧誘され、よくわからないまま承諾してしまったが、クーリングオフしたい」というものです。これは、④によつてクーリングオフはできません。また、「電話で健康食品を勧められ購入した。2瓶セットのうち、1瓶を開封してしまった」という場合は、⑤により、1瓶分のお金は支払う必要があるでしょう。

ただし、すべて対応は事例によつて異なりますので、ご相談をいただかなければクーリングオフが絶対にできないとも、絶対にできるとも言えません。

自己判断であきらめたり、早まって自分で事業者と交渉する前に、まずは消費生活センターにご相談ください。

●相談・問い合わせ〓八女市消費生活相談窓口（月～金曜日）8時30分～16時30分
（023・1183）

※毎週水曜日9時～16時、黒木支所第3相談室で出張相談を行っています。（042・1111）

キリトリセン

ご意見記入欄

（八女市広報H 27.10）

あなたの声をお待ちしています

市政に対するご意見や苦情、疑問など、あなたの「声」をお待ちしています。建設的なご意見やご提案については、市長や担当課などから直接ご本人へ回答もしていますので、住所・氏名・電話番号等連絡先の記入をお願いいたします。次のいずれかに該当するものについては、対応できない場合があります。

●特定の個人を誹謗、中傷、非難するなどしているもの▽公の秩序または善良の風俗に反するもの▽明らかに営利を目的としているもの▽趣旨が不明確もしくは不明なもの▽その他、市が不適当と判断するもの

●問い合わせ〓秘書広報課秘書広報係（023・1110）

キリトリセン

八女紫苑句会

夜の音なんと多くてちちろ鳴く

牛島 景子

睡魔には勝てぬ手鈍る夜なべかな

堤 多鶴子

風の道犬の子草の穂を揺らす

中川原篤子

青鳥や登り詰めたり青天井

松延みさこ

蝉時雨平和授業の登校日

松崎 伸子



写真は昨年イベントのようす。
「おくぼ日和」のホームページ
<http://okubobiyori.jimdo.com/>
で詳しい内容を確認できます。

上陽町の「みんなの館」で11月1日(日)に開催されるイベント「おくぼ日和」に向け準備を進めている山口真紀さんにお話を伺いました。

「地元で採れた椎茸の飛び抜けた美味しさと、『みんなの館』の木造校舎の素晴らしいさを多くの人に知ってもらいたいとの思いで、友人の大木町『ニコバン』北島さんに相談し、2年前初めて『おくぼ日和』を開催しました。地元の自分たちが楽しみたい。そうすれば来場者も楽しめるし、人も集まり、地域の良さを広められるという考えで取り組んでいま

食と遊びが満載の「おくぼ日和」においでよ



山口真紀さん(右)
「当日は、飲食、販売、ワークショップ等、全部で約35団体が出展する予定です。ステージイベントもあり、親子で楽しめるイベントですよ。」

寺崎浩子さん(左)
フェイスブック「上陽にいこう」でも地域情報を発信しています。

イベント「おくぼ日和」を開催する山口真紀さん(上陽町)

「飲食は、地元の食材を使った料理や筑後地区を中心とした人気のお店が集まります。また、おしゃれな雑貨に家具屋さん、フリーマーケット、椎茸狩り体験やガラス細工、竹のおもちや、木工、キャンドルづくり、バルーンアートのワークショップ、マジックショーや児童の和太鼓など、大人から子どもまで親子で楽しめる催しが満載です。テーマは『大人も子どももおなじく』という視点で、一日遊べるイベントです。見晴らしも良く、ロケーションも最高ですよ。また、同じ日に田下横山小学校で『しもやま田舎まつり』も開催されます。当日は、ふるさとわらべ館も含めて、上陽町の下横山地区をハシゴして、まるごと上陽を楽しんで欲しいですね」

10月

図書館の休館日

※10月の館内整理日は30日(金)

《本館の休館日》※月曜、館内整理日
5(月)、12(月)、19(月)、26(月)、30(金)

《上陽・立花・矢部・星野分館の休館日》
※月曜、祝・休日、館内整理日

5(月)、12(祝)、19(月)、26(月)、30(金)

《黒木分館の休館日》※火曜、祝・休日、館内整理日
6(火)、13(火)、20(火)、27(火)、30(金)

10月の図書館だより

八女市立図書館(本館) ☎22・2504

※本館の開館時間＝平日10時～20時
土日祝10時～18時

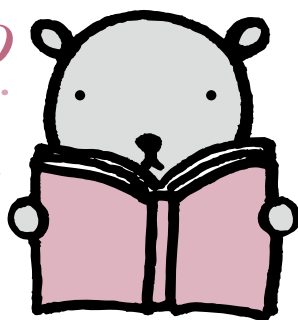
上陽分館 ☎54・3131 矢部分館 ☎47・2258

黒木分館 ☎42・0400 星野分館 ☎52・3120

立花分館 ☎37・1522

※分館の開館時間＝9時～17時30分

ホームページ www.library.yame.fukuoka.jp



10月のよみきかせ

幼児～小学生の皆さん対象です♪

♥本館＝3日、10日、17日、24日、31日 おはなしコーナー

※いずれも土曜日14時から

♥黒木分館＝3日(土)10時30分～
おはなしコーナー

10月のあかちゃんよみきかせ

0～2歳くらいの赤ちゃん対象です♪

♥本館＝17日(土)11時～
2階研修室

♥黒木分館＝17日(土)10時30分～
おはなしコーナー

★黒木地域交流センター
「ふじの里」ロビー

●期間 10月17日(土)～
10月25日(日)

※両会場で期間を分けて同じ作品を飾ります。
ぜひ皆さんでご覧ください。

★八女市立図書館本館
ロビー

●期間 10月29日(木)～
11月11日(火)

第7回読書感想画入賞作品展

★★ 図書館まつり ★★

★日時＝10月24日(土)14時から

★会場＝八女文化会館ホール

★内容＝なかよし文庫さんによるエプロンシアター、パネルシアター、おもしろ音楽シアターなど。

★問い合わせ＝八女市立図書館本館
(☎22・2504)



男女の枠をこえた、 自分らしさを大事に

とある会合での談笑の「コマ」。「やっと家も、嫁をもらうことになった」「ほう、そりゃ良かった」これを聞いた『お嫁さん』の気持ちはどうでしょう。ちよつと違和感があるのではないのでしょうか。「私は、もらわれたのではなく結婚したのです」と。私たちは、生活の中で無意識のうちに、男性・女性に差をつけることがあります。今回は、長年にわたって人権教育に関わってこられた坂田直美さん(立花小学校)とともに、男女の区別について考えてみましょう。



立花小学校で自身の体験を
交えて語る坂田直美さん

男は仕事、女は家庭

近代日本では、男性が外で仕事をし、女性は家で家事をするという考え方が、経済成長を支えてきたとも言えます。しかし現在、高度経済成長期のような賃金、終身雇用制度は変化したにも関わらず、男性は仕事、女性は家庭という性別役割分担から

派生した男性の優位性が生活の端々に見えます。以前、アパートに居していた頃、役所の担当者に井戸水の質の悪さを訴えたことがありました。担当者は、私の発言はあまり取り合ってくれず、つれあいが言うときちんと聞いていました。同じ内容を言ったのに、相手の態度が明らかに違うのです。こんな経験が、女性なら結構あるのではないのでしょうか。

漢字をひも解く

「おんなへん」の漢字を見てみましょう。小中学校で出てくるものだけでなく、婿、嫁、妊、婦、姑、姓、娘…の意味は、漢字の語源をたどるまでもなく、「つくり」(右側)を見れば分かります。



男性も子どもとふれ合う時間を作り、育児に参加

◆ 婦↓女+帚(ほうき) ◆ 嫁↓女+家(いえ) ◆ 姑↓女+古(ふるい) ◆ 婚↓女+昏(くらい) ◆ 妊↓女+壬(ふくれる)
また、嫉妬、嫌、奴婢(どれい)、女々しいなど、ちよつとイメージが悪いものにも、おんなへんの漢字が使われます。一方、おとこへんの漢字はほとんどありません。

今、学校では

出席番号は、以前男子↓女子の順に並んでいたのですが、今は多くの小中学校で、男女混合のアイウエオ順になっています。子どもたちの中に、男子が先↓上↓偉いというような感覚を無意識の内に持たせてはならないという配慮からです。

ただし、生物学的な男女のくくりとして、更衣室を分けたり、トイレを分けたりすることは必要です。その際に、男子トイレの表示は青、女子トイレは赤ではなく、両方とも黒

意識を変えてみよう

平成22年に行った人権問題に関する市民意識調査では、「男は仕事、女は家庭という考えを押し付けられる」ことが問題だと思っている人が36・8%います。これをみると、平等といいながら、男女に求める役割の違いが残っているようです。男性が家事をしても、女性が仕事をしても、不利益をこうむらない世の中をつくるために、少し意識を変えてみましょう。男らしさ、女らしさをこえて、『自分らしさ』を大事に、そして周りの人に対して『その人らしさ』を認めることができるといいですね。



運動場での整列の様子。男女混合で身長順に並ぶ

重度障害者、乳幼児、ひとり親 家庭等医療証はお持ちですか？

八女市では、健康の向上と福祉の増進を図るため重度障害者、乳幼児、ひとり親家庭等医療費支給制度があります。支給要件に該当する人で、医療証をお持ちでない人は申請をしてください。

●手続きについて

該当する人は、市民課公費医療係、黒木・立花・上陽・矢部・星野各支所の市民生活福祉課にて申請をしてください。

※ただし、所得制限があります。

●持参するもの

《重度障害者医療》

①保険証（国民健康保険証・社会保険証・後期高齢者医療被保険者証等）

②印鑑

③身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳

④平成27年1月2日以降に転入した人は、平成27年1月1日現在の住所地の所得証明書（平成27年度）。また、同じ世帯に平成27年1月2日以降に転入した人がいる場合は、その人の所得証明書（平成27年度）

《乳幼児医療》

①保険証（国民健康保険証・社会保険証等）

②印鑑

③児童が3歳以上で平成27年1

月2日以降に転入した人は、保護者の平成27年1月1日現在の住所地の所得証明書（平成27年度）

《ひとり親家庭等医療》

①保険証（国民健康保険証・社会保険証等）

②印鑑

③児童扶養手当証書または遺族障害、老齢年金証書（受給者のみ）

④平成27年1月2日以降に転入した人は、平成27年1月1日現在の住所地の所得証明書（平成27年度）。また、同じ世帯に平成27年1月2日以降に転入した人がいる場合は、その人の所得証明書（平成27年度）

※被保険者本人分と被扶養者医療証受給者）分の保険証をお持ちください。

※重度障害者医療証・ひとり親家庭等医療証をお持ちの人で、平成27年10月1日以降も該当する人については、新しい医療証を郵便でお送りしています。

●問い合わせ＝市民課公費医療係（☎23・1117）

係（☎23・1117）

制度名	乳幼児医療費支給制度	重度障害者医療費支給制度	ひとり親家庭等医療費支給制度
対象者	小学校就学前までの児童（6歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあるもの）	身体障害者＝身体障害者手帳1級・2級 知的障害者＝IQ35以下（療育手帳A） 重複障害者＝身体障害者手帳3級かつIQ36～50以下 精神障害者＝精神障害者保健福祉手帳1級 ※65歳以上の人は、後期高齢者医療制度の被保険者に限る	18歳に達する日以後の年度末までの間にある児童を監護している ・母子家庭の母と児童 ・父子家庭の父と児童 ・父母のない児童 ・準母子家庭および準父子家庭
所得制限	なし	あり	あり
本人負担額	なし	入院外〔通院〕500円/月（限度） 入院〔一般〕500円/日（月20日限度） 〔低所得〕300円/日（月20日限度） ※いずれも1医療機関ごと、薬局は無料 ※精神障害者の精神病棟への入院に係る費用は助成の対象外	入院外（通院）＝800円/月（限度） 入院＝500円/日（月7日限度） ※いずれも1医療機関ごと、薬局は無料

※生活保護受給者は対象者から除きます。

※入院時の食事代・居住費等の本人負担および医療保険の適用を受けない費用については本人負担になります。

後期高齢者
医療制度
被保険者の
皆さん

年に一度は健康診査を受けましょう！！

福岡県後期高齢者医療制度の被保険者を対象に生活習慣病の予防および早期発見・早期治療を目的に健康診査を実施しています。平成27年度の受診期限は平成28年3月31日です。まだ受診していない人は、実施医療機関等でお早めにご予約の上、受診してください。実施医療機関が分からない場合は、お気軽にお問い合わせください。

受診のときは、「被保険者証（保険証）」と広域連合が郵送した「受診票」、自己負担金500円が必要です。受診票が見当たらない場合は再発行をいたしますので、お問い合わせください。

※生活習慣病（糖尿病や高血圧症など）で治療中の人は受診の対象となりません。

●問い合わせ＝福岡県後期高齢者医療広域連合お問い合わせセンター
（☎092651・3111）

「こども医療費支給制度」 をご存じですか？



小学生・中学生は、入院時の医療費の自己負担額を全額助成しています（平成24年4月から）。医療機関で医療費を一度支払った後に、市へ申請をしてください。手続きには、必要な書類がありますので、詳しくはお問い合わせください。

なお、学校管理下での事故及び交通事故等が原因での入院は支給対象になりません。

●問い合わせ＝市民課公費医療係
（☎23・1117）

たくさん感謝とともに
歌声レクササイズ夏！

第9回歌ごえレクササイズ
夏！が8月29日(土)、八女文化
会館でありました。レクササ
イズとは楽しく無理なくでき
る健康体操のこと。参加者は
懐かしい歌を歌ったり、音楽
に合わせて体操をしたりして
心と身体をリフレッシュしまし
た。今回は長年会場として使っ
てきた八女文化会館がリニュー
アルのためしばらく使用できな
くなることを受け、会館に感
謝の気持ちも込めて会場中央
テーブルに野菜のアレンジメン
トが飾られました。地元の農
家の皆さんの協力を得て集め
られた新鮮な野菜たちは「た
くさんの出会いや感動をあり
がとう」の思いを込め、参加
者に配られました。

多世代が七夕まつりを楽しんだ



多世代交流館「共生の森」で8月2日(日)に、七夕まつりを行いました。大変暑い中に約600人の参加があり、竹や紙の遊び、七夕揮毫会、バザーなどで賑わいました。老人クラブ、民生委員児童委員のみなさんに加え、青年サークルの人も参加し、今の遊び・懐かしい遊びを伝承する多世代交流の場となっています。今年は最後にくじ引きを行い、竹馬や図書カードなど豪華景品も当たりました。子どもから高齢者まで一緒になつて楽しむ表情が印象に残るひとときでした。

24時間テレビの募金活動をしました

八女市では、市内の中学生・高校生がさまざまな体験活動やボランティア活動を通じて学びあう中高生対象講座を旧市町村ごとに開講しています。八女と黒木地域の受講生28人が8月22日(土)、ゆめタウン八女で24時間テレビの募金活動を行いました。最初は声を出すのも躊躇した様子でしたが、次第に慣れて買い物客に元気に大きな声で募金を呼び掛けていました。今回お寄せいただいた募金10万7042円は福岡銀行を通じて24時間テレビチャリティーに送金しました。ありがとうございました。



県民体育大会で水泳
頑張りました

第58回福岡県民体育大会水泳競技夏季大会が8月23日(日)、福岡県立総合プールで開催されました。八女市選手団23名が参加し、次の3人が入賞しました。(敬称略)

- 男子50メートル自由形 65歳
69歳 第3位 古庄俊吉
- 男子50メートル背泳ぎ 30歳
34歳 第1位 平井陽伸
- 男子50m背泳ぎ 55歳～59歳
第2位 木下志郎



第50回記念矢部川
源流少年剣道大会

8月29日(土)、矢部体育館で第50回記念矢部川源流少年剣道大会が開かれました。結果は次のとおりです。(敬称略)

- 《団体戦》小学生の部のみ
- ▽優勝 大淵道場（黒木町）
- ▽準優勝 木佐木少年剣道会
- A（三潯郡大木町）
- 《個人戦》
- 小学3年生以下の部
- ▽優勝 中島蒼葵（三河少剣）
- ▽準優勝 有田結人（三河少剣）
- 小学4年生の部
- ▽優勝 與田煌（大溝少剣）
- ▽準優勝 溝田英司（黒木西道場）
- 小学5年生の部
- ▽優勝 岡崎弘樹（木佐木少剣）
- ▽準優勝 佐野楓（隆将館）
- 小学6年生の部
- ▽優勝 北島成実（大溝少剣）
- ▽準優勝 堤麻帆（黒木道場）
- 中学生男子の部
- ▽優勝 熊本成海（大溝少剣）
- ▽準優勝 栗原悠希（矢部道場）
- 中学生女子の部
- ▽優勝 倉ノ下萌香（黒木西道場）
- ▽準優勝 高橋萌香（矢部道場）



参加者
募集!

よかとこツアー

(矢部エリア)

八女の魅力
再発見

平成 22 年度に合併し広域となった市内には、まだまだ知らない「よかとこ」がたくさんあります。地元自慢の「うまかもん」や、知っているようで知らない「よかとこ」を皆さんでめぐってみませんか。お気軽にご参加ください。

- 対象者＝星野エリアにお住まいの人
- 実施日＝10月20日(火)9時集合～16時30分散散(予定)
- 集合場所＝八女市星野支所駐車場
- 内容＝日向神峡ハート岩見学、柚人の家(昼食)、柚のふる里文化館にて紅茶淹れ方教室など
- 参加料＝3,000円(昼食、お土産代金含む)
- 募集人員＝20人※定員になり次第締め切ります。
- 申込・問い合わせ＝星野支所産業観光係(☎52・3111)※ツアー内容は、都合により変更する場合があります。

「やめぐるめ」 掲載店募集



茶のくに観光案内所では、八女市内で昼食・おやつ・おかずを提供されているお店の情報を紹介するグルメハンドブックと八女観光オフィシャルサイトに八女限定グルメサイトを作成します。希望される商店主の皆さまは、申し込みください。なお、掲載枠に限りがありますので、お早めにお申し込みください

- 募集締切＝11月30日(月)
- ※募集チラシ並びに申込書は、茶のくに観光案内所または各支所に設置しています。
- ※八女観光オフィシャルサイトからもダウンロードできます。<http://yame.travel/>
- 申込・問い合わせ＝八女市観光案内所(☎23・1192 Fax 22・7311)



山 八女黒木 七郎

大自然の中で
独身男女が親睦を
深めました

「山婚」とは山婚活と山こんにやくの意。世話役じじいばプロジェクトの皆さんによる第1回「八女黒木山婚」(市民との協働によるまちづくりプロジェクト)が9月6日(日)黒木町でありました。独身男女各20人が参加し、黒木町の大自然を満喫しながら親睦を深めました。

くつろぎの森グリーンピア八女では森林セラピーロードを歩きながら会話をし、お茶のワークショップではチームに分かれてお茶を堪能。みんなで巨峰狩りも楽しみました。最後に、これから連絡を取りたい人へメッセージカードを渡しました。大自然を満喫しながらの今回のイベントはキャンセル待ちが出るほど盛況でした。実行委員の皆さんは「出会いのきっかけづくりをお手伝いできればというこ



とで取り組みました。いい結果につながればいいですね」と話していました。第2回「山婚」は11月29日(日)に行われますが、こちらもすでに予約いっぱいです。キャンセル待ちの状態だそうです。

●問い合わせ＝直売所「みちばた」(☎42・3543)



公演する安武さん

「食べることは生きること」命の食を問いかける

「あなたは子どもに何を遺せますか」と題して『はなちゃんのみそ汁』の著者・安武信吾さんの講演会(黒木公民館・八女市立図書館黒木分館共催)が8月29日(土)、黒木開発センターでありました。安武さんの妻千恵さん

は乳がんの治療後、命がけで娘を産み・育てる中で、食事の大切さに目覚めていきます。がんが再発し、4歳の娘はなかなか「自分がいなくなっても困らないように」と台所仕事を中心に身の回りのことができるように教え33歳で亡くなりました。悲しみにくれる父を救ったのは、はなちゃんの作るみそ汁。安武さんは「自分の命を自分で守る。それが台所でできる」と、日々の食事の大切を問いかけてきました。千恵さんのブログが映像で流れ、涙・涙の中にすがすがしい感動が広がった講演会でした。

空き家情報を募集しています♪

空き家売りたい・貸したい人は、下記までお問い合わせください。

●募集対象エリア＝八女市全域 ●問い合わせ＝地域づくり・文化振興課定住対策係 (☎24・8013)

★受付時間＝平日9時～16時30分 ※お越しの際は必ず事前にお電話ください。

お知らせ



八女地区総合防災訓練

平成27年八女地区総合防災訓練を実施します。訓練には八女地区の防災関係機関をはじめ、警察、自衛隊、多くの地元の皆様の参加を予定しています。自由に見学できますので、ご来場をお待ちしています。

●訓練日時＝10月4日(日)9時30分～11時30分

●場所＝春の山公園(上陽町北川内)

●問い合わせ＝八女消防本部 警防課 (☎24・2119)

第15回岩崎記代子音楽塾

八女市観光大使の岩崎記代子さんによるピアノ弾き語り

市民との協働によるまちづくり提案事業

岩戸山古墳で大コーフン

●日時＝10月10日(土)8時30分～

●場所＝岩戸山古墳および周辺



駐車場は岩戸山古墳北、福島高校、長峰小学校、JA 八女北支店。無料巡回バス有。※雨天決行(熱気球搭乗体験を除く)

●熱気球搭乗体験(福高ソフトボールグラウンド)

●勾玉製作体験(岩戸山古墳別区) ※500人先着 ●石人石馬石彫体験(岩戸山古墳別区) 要申込。3～4人1組でお申し込みください。

●石包丁稲刈体験(岩戸山古墳北高床式倉庫前) ※先着25人

●磐井の劇(岩戸山古墳 別区ステージ)ミュージカル劇団さくら座による「磐井の劇」。※11:00～、14:30～の2回上演

●主催・問い合わせ＝八女青年会議所 (☎24・4022) ※詳細は八女青年会議所のホームページをご覧ください。

茶レンジ!

ヤングフォーラム2015

文化の日、茶のくに八女で日本文化を学びま書

●日時＝11月3日(祝)

10時～16時 ※9時30分受付

●場所＝広川町和華※(株)若大将2階

(広川町新代2391)

文化の日には日本文化を体験してみませんか。午前中は書道の先生の指導により大切な人へ贈る感謝状を作ります。昼食は茶懐石料理を食べながら、礼儀作法・食事マナーを勉強します。午後からは茶道江戸千家の先生の指導による茶道教室で思いやりの心を学びます。

●参加対象＝八女市・広川町の小学3年生～中学3年生(事前申込必要) ●参加費＝無料

●持ってくる物＝筆・すずり・文鎮などの書道道具(持っていない人はお知らせください)

●主催・問い合わせ＝八女青年会議所 担当 栗原さん (☎090・6123・1342)

音楽塾。今回は「秋」をテーマに童謡や唱歌などを学び、みんなで楽しく歌います。

●日時＝10月10日(土)13時30分～

●場所＝八女文化会館多目的ホール

●持参するもの＝歌詞本、発声表、筆記用具、お茶

※歌詞本をお持ちでない人は当日受付で販売しています。

発声表をお持ちでない人は当日受付にて配布します。

●問い合わせ＝商工観光課 (☎23・1192)

立花自然と歩こう会

●日時＝10月11日(日)7時30分

立花体育館集合

●コース＝飛形山1番方面

●参加料＝無料(参加自由)

●問い合わせ＝白鳥さん

(☎37・0038)

八女軽トラ市

八女特産の野菜や加工食品、雑貨などを販売します。出店者も随時募集しています。

●日時＝10月11日(日)9時～12時 ※悪天候の場合中止

●場所＝八女観光物産館ときめき駐車場

●問い合わせ＝同実行委員会事務局 (☎22・3131)

八女ライオンズクラブチャリティ音楽祭&福祉バザー

今年で10回目を迎える障がい者支援「チャリティ音楽祭&福祉バザー」。たこ焼きなどの出店や手作りの手芸品、農産物の販売、八女消防音楽隊、福島高校吹奏楽部、西日本短

期大学付属高校吹奏楽部の演奏など盛りだくさんの内容です。

●日時＝10月11日(日)10時～15時(雨天決行)

●会場＝おりなす八女はちひめホール

●問い合わせ＝八女ライオンズクラブ (☎24・3313)

和太鼓TAO八女公演

●日時＝10月11日(日)16時30分

開場、18時開演(雨天決行、荒天時は翌日)

●場所＝くつろぎの森グリーンピア八女特設ステージ

●チケット＝大人4千円▽小中学生2千円▽未就学児無料、3歳児未満入場不可

●問い合わせ＝堤さん (☎080・1775・9040)

ふくおか県民文化祭2015

南筑後ブロック芸能フェスティバル。八女市・筑後市・広川町の文化連盟を代表する皆さんが日舞や三味線、ハーモニカ、フラダンスなどを披露。入場料無料。

●日時＝10月12日(祝)10時～

●会場＝おりなす八女ハーモニカホール

●問い合わせ＝地域づくり・文化振興課 (☎24・8163)

第23回地域活動講演会

「農業つて難しい!でもだから面白い!」と題し、平井一之介さん(平井観光農園)を講師に開催。参加無料。定員30人。

●日時＝10月13日(火)19時開会

●場所・問い合わせ＝ホームヘルプ・ケアプラン金太郎(清水

献血にご協力ください

八女市献血推進協議会
(☎23・5816)

日にち	時間	場所
10/19 (月)	10:00～11:30 12:30～15:30	株式会社 熊谷光玉園
10/23 (金)	10:00～11:30 12:30～15:30	室岡 公民館



「ペドロ山下展」 鮮やかな色彩達人と称される世界的クリエイター

八女市のシンボルマークやイメージキャラクターの制作者であり、八女をふる里にデザインやイラストレーションを世界に発信し続けるペドロ山下のデザイン展です。多彩な作品とトークにより、デザインの未来を次の世代に語りかけます。

- 日時＝10月23日(金)～11月3日(祝)、9時～17時
- 講演会＝10月24日(土)15時
- ギャラリートーク＝10月24日(土)10時、31日(土)10時・13時
- 会場＝八女伝統工芸館
- 入場料＝無料
- 申込・問い合わせ＝同館
(☎22・3131)

町商店街) ☎24・9657
健康ウォーク

10月は久留米市で行われるムーンスターウォーキングフェスティバルに参加します。

- 日時＝10月17日(土)8時出発
- 集合場所＝八女伝統工芸館前※乗り合せてムーンスター本社前へ

●問い合わせ＝八女歩こう会
荒川さん (☎090・4997・5813)

みんなで歌おうボンモマン

ハーモニカの演奏で楽しく歌いましょう。C調のハーモニカをお持ちの人は「ふるさと」を一緒に演奏しませんか。

- 日時＝10月17日(土)14時～16時
- 会場＝八女文化会館
- 参加費＝3000円
- 問い合わせ＝サウスクラブ
ハーモニカグループ『竹取物語』
末石さん (☎23・3366)

ウインドアンサンブルCHKUGO第5回演奏会

フィンランディア、ミッシェンインポッシブル等演奏。入場無料、整理券(団員、サザンクス、アオキ楽器等)発行。

- 日時＝10月18日(日)14時
- 会場＝サザンクス筑後大ホール
- 問い合わせ＝団長投野さん
(☎050・5583・2878)

第32回市民コンサート

八女市内の音楽グループが日頃の活動の成果をステージで発揮します。八女市音楽協会主催。入場料3000円。

- 日時＝10月25日(日)13時～(12時30分開場)
- 場所＝おりなす八女ハーモニホール
- 問い合わせ＝梅野さん
(☎090・4514・4249)

サウスクラブ体力テスト

自分の体力を知って生活に

活かしましょう。参加無料。

- 日時＝10月24日(土)10時
- 会場＝八女市総合体育館
- 問い合わせ＝サウスクラブ
(☎24・1340)

サウスまつり2015

社交ダンスや中高齢者体操、太極拳、フラダンスなど各教室の発表を行います。入場無料。

- 日時＝11月7日(土)9時
- 場所＝八女市総合体育館
- 問い合わせ＝サウスクラブ事務局(総合体育館内) ☎24・1340

森林セラピーと森の音楽会

森林セラピーとは、森の持つ癒し効果を心と身体に健康に活かそうという取り組みです。約2キロの森林セラピーロードをゆっくり歩きながら癒されてみませんか。森の音楽会では、音楽愛好家によるコカリナ・フルート・チェロ・ピアノの演奏

- 日時＝10月23日(金)～11月3日(祝)、9時～17時
- 講演会＝10月24日(土)15時
- ギャラリートーク＝10月24日(土)10時、31日(土)10時・13時
- 会場＝八女伝統工芸館
- 入場料＝無料
- 申込・問い合わせ＝同館
(☎22・3131)

をお楽しみいただきます。

- 日時＝11月29日(日)10時～14時(9時30分集合)
- 場所＝くつろぎの森グリーンピア八女
- 参加料＝2200円(レストランでの食事、温泉入浴券付)
- 定員＝先着50人
- 募集締切＝11月18日(水)
- 申込・問い合わせ＝黒木支所産業経済課(☎42・1115)

サウスクラブバスハイク

秋を満喫しましょう！

- 行き先＝北九州方面
- 期日＝11月15日(日)
- 集合場所＝八女市総合体育館
- 参加費＝別途
- 申込＝10月10日(土)先着45人
- 問い合わせ＝サウスクラブ
(☎24・1340)

特別支援学校生徒合同技能発表会・企業と教職員の交流会

障害者雇用に関心のある企業の参加をお待ちしています。

- 【福岡・筑後地区】
- 日時＝11月11日(水)10時15分～12時30分
- 場所＝福岡市立特別支援学校博多高等学校(福岡市博多区)
- 申込締切＝11月4日(水)
- 問い合わせ＝県新雇用開発課(☎092・643・3594)

教室・講座

サウスクラブ短期子ども体操教室

- 日時＝10月2日(金)、16日(金)、23日(金)17時30分～18時30分
- 場所＝八女市総合体育館
- 対象＝小学1年生～6年生
- 参加費＝▽一般1000円▽会員300円
- 問い合わせ＝サウスクラブ
(☎24・1340)

中央公民館脳トレ(レクリエーション)講座

- 脳を活性化しよう。誰にでも無理なくできます。みんなで楽しく体を動かしてみませんか。
- 日時＝11月12日(木)・11月26日(木)・12月16日(水)【全3回】13時30分～15時30分
- 定員＝35人
- 場所＝おりなす八女はちひめホール
- 申込期間＝10月1日(木)～10月17日(土)【月・土9時～17時】
- 申込方法＝電話または・ファクスで(講座名・住所・氏名・電話番号記入のうえ申込)応募多数の場合抽選
- 申込・問い合わせ＝八女市中央公民館(☎24・8121)

【臨時職員募集(保健師等)の期間延長のお知らせ】●期間＝平成27年11月～平成28年3月まで※ただし、更新場合があります ●募集締切＝10月16日(金) ●問い合わせ＝健康推進課 (☎23・1352)

40歳からの就職支援セミナー

おむね40歳から64歳までの求職者を対象に、2日間かけて、応募書類の書き方や面接訓練等のセミナーを開催します。受講後は専門のコンサルタントが1対1でサポートします。(費用無料、要予約)

- 日時 10月6日(火)、7日(水) 10時～15時
- 場所 11ハローワーク八女
- 持参物 履歴書・筆記用具
- 問い合わせ 予約 福岡県中

● 092・433・7780

ガイドヘルパー養成講座

福岡県認定講座。全身性障害者の外出介助資格が取れます。

- 日時 10月24日(土)10時～16時40分、10月25日(日)10時～17時 ※2日間受講が必要です。

● 会場 24日 八女市社会福祉会館3階大会議室、25日 同2階会議室

- 対象 ヘルパー2級等有資格者
- 受講料 1万1728円(テキスト代1728円)

● 定員 30人(先着)

● 申込期限 10月19日(月)※申込用紙は八女市福祉会館と立花町保健福祉センター「かがやき」に置いてあります。

● 問い合わせ NPO法人ふく

し邑 24・8366※火金
/ 松岡さん080・1772・0417

家庭介護介助者養成講座

家庭介護に直面している人や地域で介護分野に従事されている人、すぐに役立つ知識・技術を習得しませんか。

- 日時 11月1日(日) ② 11月8日(日)10時～13時

● 会場 八女文化会館

● 内容 ①改正介護保険制度を学ぶ②転倒予防

● 定員 20人(先着順)

● 申込・問い合わせ 麻生教育サービス株式会社 092・432・6266



第3回市営住宅入居者

今年度第3回定期募集の受付を10月13日(火)から10月30日(金)まで実施します。募集案内(申込書)は、10月13日(火)から、八女市役所本庁、各支所の担当係にて配布します。詳細は募集案内をご覧ください。応募者数に募集戸数を超える場合は抽選(公開抽選会)となります。入居申込資格等については、募集案内または市ホームページ

農地の出し手、受け手を募集します

農地中間管理機構(公財 福岡県農業振興推進機構)を通じて、農地の貸借を行いませんか。同機構は、農地を貸したい出し手から、規模拡大などを行いたい受け手(担い手)への農地の集積・集約化を進めるため、農地の中間的受け皿となる組織です。農地中間管理機構を通じて農地を貸付けると、経営転換協力金(30～70万円/戸)の対象となる場合があります。受け手は、契約を一本化できるメリットがあります。機構は公的機関なので安心です。申込方法や協力金の交付要件など詳しくは問い合わせください。

【平成27年度2回目の募集】

内 容	期 日(予定)
農地の出し手の募集	随時
農地の受け手の募集	10/1(木)～11/2(月)
機構を通じた農地の権利設定(出し手→機構、機構→受け手)	5/1(日)

- 問い合わせ＝
農業振興課 (23・1118)
黒木支所産業経済課 (42・1115)
立花支所産業経済課 (23・4940)
上陽支所建設経済課 (54・2219)
矢部支所建設経済課 (47・3111)
星野支所建設経済課 (52・3114)
(公財) 県農業振興推進機構 (092・716・8355) / 県水田農業振興課 (092・643・3474)

社 092・781・8029

サウスクラブグラウンド ゴルフ大会参加者

- 期日 11月3日(祝)
- 場所 桜公園運動広場
- 参加費 一般 1人200円▽会員 無料
- 申込 10月4日(日)～18日(日)
- 問い合わせ サウスクラブ

24・1340

ふしぎいっぱい自然探検隊

童男山古墳周辺で植物や昆虫・鳥などを観察します。小学生対象。定員20人(先着)。

- 日時 10月25日(日)9時～12時30分

● 会場 県立ふれあいの家南筑後(山内)

● 申込 ファクス(23・7424)またはメール(nanchiku-

水道検針員名簿登録者

上水道および簡易水道の使用量を測る水道メーター検針業務を個人に委託しています。急な欠員が生じた場合に備え、検針業務受託希望者の名簿を作成し、欠員が出た時点で名簿登録者から選考し契約します。随時募集。

● 業務内容 各世帯および事業所の水道メーターを2か月ごとに検針機器で検針業務等。

● 件数 500～1000件

● 検針地区 上水道、簡易水道給水区域

● 契約期間 4月1日～3月31日。※年度途中の場合は、

べんがら村 指定管理者募集

八女市健康増進施設「べんがら村」の管理運営業務を効率的かつ効果的に行うため、平成28年4月1日からの施設の管理運営等の業務を行う指定管理者を募集します。
※募集要項・応募書類等は農業振興課で配布
※八女市HPからもダウンロードできます。

- 指定期間＝平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間）
- 応募方法＝申請書類等関係書類をご提出ください。詳しくは応募要項をご参照ください。
- 申込・問い合わせ＝農業振興課農産園芸係（☎23・1118 / ☎23・5411）

- 委託開始の日から当該年度末日。再延長も可能。1検針当たり80円（その他別料金有）
- 検針期間＝年6回、偶数月の1日～10日の間。
- 応募資格＝▽八女市内に在住の原付免許以上の有資格者で20歳以上70歳未満までの健康な人▽八女市内の地理にある程度詳しい人（地図を見て場所が確認できること）▽1年以上勤務できる人▽市税等の滞納がないこと
- 応募方法＝履歴書（市販用紙可）を持参または郵送
- 選考方法＝書類選考および面接※欠員が出た時点で条件等の変更がないか再度選考。
- 応募・問い合わせ＝八女市役所上下水道局上水道総務係（〒834-8585八女市本町647） ☎23・1949

八女市文化祭短歌会作品

- 日時＝11月8日(日)13時～
- 会場＝社会福祉会館2階会議室（おりなす八女北隣）
- 詠草＝一首（未発表に限る）
- 選者＝藤吉宏子さん、樋口洋子さん
- 出詠料＝10000円
- 締切＝10月20日(火)（〒834-0063八女市本村842の3堤秀夫）
- 問い合わせ＝短歌部堤さん（☎23・0450）

就業支援

ひとり親等就労支援講習会

- ひとり親家庭の母、父、寡婦を対象に講習会を行います。
- ①調剤薬局事務（定員20人）
- 期間＝11月15日(日)～1月24日(日)9時30分～12時（日曜・8日間）
- 受講料＝無料（テキスト代と申請料の一部5千円自己負担）
- 託児＝1歳～就学前まで（事前予約）

試験

福岡県農業大学校

- 場所＝春日クロアバープラザ
- 問い合わせ＝県ひとり親家庭等就労・自立支援センター（☎092・584・3931）
- 詳細は問い合わせるかホームページをご覧ください。
- 試験日（一般入学）＝12月11日(金)
- コース（定員）＝野菜(20)・花き(5)・果樹(5)・水田経営(5)・畜産(5)・総合(0)※修業期間2年
- 願書受付＝11月13日(金)～27日(金)
- 問い合わせ＝同校（☎092・925・9129）

相談

不動産の無料相談会

- 不動産に関することならどんな相談でもお寄せください。
- 日時＝10月15日(木)13時～16時
- 場所＝おりなす八女研修棟第1研修室
- 問い合わせ＝（公社）福岡県不動産鑑定士協会（☎092・283・6255）

相続合同相談会

九州北部税理士会と県司法

書士会が同時に相続の法律と税務相談に応じます。予約不要、先着順（午前・午後各12組）無料、15時受付終了。

- 日時＝10月24日(土)10時～16時
- 会場＝天神ビル11階2・3号会議室（福岡市中央区天神2-12-11）
- 問い合わせ＝県司法書士会（☎092・722・4131）
- 空家・空地無料相談会

空き家バンク協定不動産業者が対応します。

- 日時＝10月28日(水)14時～16時
- 場所＝おりなす八女研修棟第1研修室
- 問い合わせ＝代表大石さん（☎23・4775）

養育費等無料法律相談

弁護士による養育費などの無料法律相談。相談希望者は、相談日前日までに県母子寡婦福祉連合会に予約ください。

- 開催日程＝▽10月28日(水)18時30分～20時30分▽11月4日(水)13時～15時
- 場所＝春日クロアバープラザ
- 予約電話＝092・584・3922（平日9時～17時）

暴力団被害集中相談

暴力団等による暴力被害者

の早期救済を目的に、警察・弁護士会・暴追センターおよび各自自治体が連携して面接・電話による相談を実施します。

【筑後地区】

- 日時＝10月24日(土)10時～16時
- 場所＝久留米市暴力追放推進協議会（久留米市役所3階）
- 相談電話＝0942・30・9055
- 問い合わせ＝（公財）福岡県暴力追放運動推進センター（☎092・651・8938）

一般

原爆被爆者二世の健康診断

原爆被爆者二世の人を対象に、県内22医療機関にて無料で健康診断を実施しています。他の地域の実施医療機関については問い合わせください。

- 期間＝平成28年2月まで
- 実施医療機関＝①公立八女総合病院（☎23・4131）／平日（年末年始除く）8時30分～11時受付／予約不要
- ②聖マリアヘルスケアセンター（☎0942・36・0721）／月～土（祝年末年始を除く）10時30分～／事前予約必要
- 問い合わせ＝県健康増進課疾病対策係（☎092・643・3267）

筑後市

【水田天満宮稚児風流】 ●日時＝10/25(日)
10:00～13:00 ●場所・問＝水田天満宮
(0942・53・8625)

柳川市

【三柱神社秋季大祭「おにぎえ」】
●日時＝10/10(土)～12(祝) ●場所・問＝三
柱神社 (0944・72・3883)
【水郷柳川ゆるり旅】 ●日時＝9/27(日)～
11/3(祝) ●問＝柳川市観光案内所 (0944・
74・0891)

大川市

【大川木工まつり】 ●日時＝10/10(土)～12
(祝) 9:00～18:00 ●場所＝大川産業会館 ●問
＝大川市インテリア課 (0944・87・2101)

みやま市

【囲碁サミット2015inみやま・柳川】 ●日
時＝10/3(土)・4(日) ●場所＝まいピア高田/
御花(交流会) ●問＝同実行委員会 (0944・
32・9180)

大木町

【ぐる～っと大溝 大木さるこいフェスタ】
●日時＝10/25(日) 9:00～ ●参加費＝一般
500円・3歳～小学生 300円 ●問＝アクア
ス (0944・33・2022)

広川町

【広川まつり】 ●日時＝10/17(土)17:00～21:00、
8(日) 8:30～15:00 ●場所＝広川中学校 ●問
＝広川まつり実行委員会 (☎32・5555)

小・中学校の体育施設利用

市民のスポーツ活動に体育館や運動場を開放しています。利用したい人は必ず「利用者の会」に参加してください。参加するためには前もって団体登録が必要です。

〔11月利用者の会〕

●期日＝10月17日(土)

●時間・学校名＝▽13時30分～(福島小、長峰小、福島中)▽14時15分～(岡山小、八幡小、西中)▽15時～(上妻小、三河小、南中)▽15時45分～(忠見小、川崎小、見崎中、上陽北浜学園)▽16時15分～(総合体育館、上陽体育館、立花体育館、筑南小)
●会場・問い合わせ＝総合体育館(☎24・1230)

10～11月は「農地パトロール月間」

八女市農業委員会では10～11月を農地パトロール月間として、農地利用状況調査を実施します。この調査は平成21年12月に施行された改正農地法の規定に基づくもので、毎年1回、その区域内にある農地の利用の状況についての調査を行います。

◇荒廃農地解消に向けて取り組みます。

農地パトロールと同時に荒廃農地解消に向け荒廃農地の調査や保全管理のお願い等を行い、解消に向けての取り組みを実施します。皆様のご理解とご協力をお願いします。

◇農地の適正な管理をお願いします。

平成21年12月に改正農地法

が施行され、「農地について所有権または賃借権その他の使用および収益を目的とする権利を有する者は、当該農地の農業上の適正かつ効率的な利用を確保するようしなければならぬ」と農地の権利を有する者の責務規定が設けられました。

遊休農地は火災や病害虫の発生原因となり、隣接の住民や農地へ悪影響をおよぼします。除草、病害虫駆除等、農地の適正な管理をお願いします。

農地の貸付や譲渡を希望される場合は、地元農業委員または農業委員会事務局までご相談ください。

●問い合わせ＝農業委員会(☎23・2407)

秋季停水のお知らせ

【山の井用水路】

●期間＝10月15日(木)～31日(土)

【中の井用水路】

●期間＝10月18日(日)～11月1日(日)

●問い合わせ＝農業振興課

(☎23・1119)

10月1日は、「浄化槽の日」

毎年、10月1日は「浄化槽の日」です。浄化槽はトイレの水酸化で快適な生活がとれるだけでなく、きれいな水で美しく豊かな自然を守ります。

この水・この町・この国土
未来へ届ける 浄化槽
平成27年度「浄化槽の日」
標語 最優秀賞作品

浄化槽補助限度額	
10人槽	548,000円
7人槽	414,000円
5人槽	332,000円

●浄化槽の利点

▼水酸化により快適な生活がとれます。

▼生活排水の汚れが10分の1に減ります。

▼きれいな水なので、安心して流せます。

▼設置費用の補助制度があります。

●補助要件

▼浄化槽の設置者(以下「設置者」)が居住の用に供する専

用住宅または併用住宅に設置される浄化槽であること

▼併用住宅の場合は、延べ床面積の2分の1以上を居住の用に供する建物であること

▼設置者またはその同居親族に税金等の滞納がないこと

▼補助金の交付は、予算の範囲内で行います。

浄化槽は維持管理が大切です

浄化槽は、微生物の働きを利用して汚水処理する装置です。微生物が活動しやすい環境を保つように維持管理を行いましょう。浄化槽の維持管理は、保守点検・清掃・法定検査に分かれますが、浄化槽法でそれぞれ定期的に実施することが義務づけられています。

●問い合わせ＝環境課(☎23・1462)

相談はお気軽にどうぞ

無料法律相談 予約

- 10月15日(木)、11月5日(木) / 相談 13:00 ~ 16:00 / 場所・法務局八女支所※予約・法テラス福岡 ☎ 050・3383・5502
- 10月9日(金) 13:30 ~ 16:00 / 社会福祉会館 ※予約 ☎ 23・0294
- 10月16日(金) 13:30 ~ 16:00 / ふじの里(黒木) ※予約 ☎ 42・2131
- 10月23日(金) 13:30 ~ 16:00 / 地域福祉センター(上陽) ※予約 ☎ 54・3003
- 10月16日(金) 10:00 ~ 12:00 / 八女商工会議所※予約 ☎ 22・5161

男女共同参画推進支援委員相談 予約

- 10月8日(木) 13:30 ~ 16:30※予約 男女共同参画・生涯学習課 ☎ 23・1314

女性相談(働く婦人の家 ☎ 37・1522)

- 10月20日(火) 9:30 ~ 11:30 / 働く女性の家(立花)

障害者相談支援センターリーベル出張相談

- 10月20日(火) 10:00 ~ 11:00 / 黒木支所 問い合わせリーベル ☎ 22・2610

なんでも人権相談(法務局 ☎ 23・2603)

- 10月2日(金) 13:00 ~ 16:00 / 社会福祉会館 / 地域福祉センター(上陽町)
- 10月6日(火) 13:00 ~ 16:00 / 矢部公民館
- 10月7日(水) 13:00 ~ 16:00 / 星野支所
- 10月9日(金) 13:00 ~ 16:00 / ふじの里(黒木)
- 10月14日(水) 13:00 ~ 16:00 / かがやき(立花町)

行政相談(総務課 ☎ 23・1111)

- 10月1日(木) 13:30 ~ 16:00 / 社会福祉会館
- 10月7日(水)、21日(水) 9:30 ~ 12:00 / ふじの里(黒木)
- 10月13日(火) 13:30 ~ 16:00 / 地域福祉センター(上陽)
- 10月5日(月) 13:30 ~ 16:00 / 立花市民センター2階
- 10月6日(火) 13:00 ~ 16:00 / 矢部公民館
- 10月7日(水) 9:00 ~ 12:00 / 星野支所2階

司法書士相談(社協 ☎ 23・0294)

- 10月16日(金) 13:30 ~ 16:00 / ふじの里(黒木)
- 10月9日(金) 13:30 ~ 16:00 / 社会福祉会館

心配ごと相談(社協 ☎ 23・0294)

- 10月7日(水)、21日(水) 13:30 ~ 16:00 / 社会福祉会館
- 10月7日(水)、21日(水) 9:30 ~ 12:00

／ふじの里(黒木)

- 10月14日(水)、28日(水) 13:30 ~ 16:00 / 地域福祉センター(上陽)
- 10月14日(水)、28日(水) 9:30 ~ 12:00 / かがやき(立花)

日本政策金融公庫相談会

- 10月2日(金) 13:00 ~ 15:00 / 商工会議所

税務相談会

- 10月13日(火) 10:00 ~ 15:00 / 商工会議所

経営支援相談会 予約

- 10月19日(月) 13:30 ~ 16:30 / 商工会議所 ※予約 ☎ 22・5161

補聴器の修理と相談(福祉課 ☎ 23・1335)

- 10月20日(火) 13:00 ~ 14:30 / 八女市役所103会議室
- 10月8日(木) 9:00 ~ 10:00 / 地域福祉センター(上陽)
- 10月9日(金)、20日(火) 10:00 ~ 12:00 / ふじの里(黒木)
- 10月20日(火) 10:00 ~ 12:00 / かがやき(立花)
- 10月8日(木) 11:00 ~ 12:00 / 矢部公民館
- 10月22日(木) 10:00 ~ 12:00 / 星野支所

年金相談 予約

久留米年金事務所のお客さま相談室へ。予約をすれば待ち時間が少なくなります。※基礎年金番号をお知らせください。

- 月曜日(休日の場合は翌日) 8:30 ~ 19:00 / 火～金曜日 8:30 ~ 17:15 / 毎月第2土曜日 9:30 ~ 16:00 ※予約 (☎ 0942・33・6215)

家庭児童相談室 予約

- 平日 9:30 ~ 16:00 / 市役所内 ※予約 (☎ 23・1448)

こころの健康相談 予約

- 毎週月曜日 14:30 ~ 16:00 / 南筑後保健福祉環境事務所分庁舎(八女総合庁舎) ※予約 ☎ 0944・72・2176

エイズ検査 予約 とエイズ電話相談

- 毎週月曜 14:00 ~ 15:00 / 南筑後保健福祉環境事務所分庁舎(八女総合庁舎) ※予約 ☎ 0944・72・2812

弁護士多重債務・労働問題・DV被害相談 予約

- 毎週火曜 13:30 ~ 16:00 / 社会福祉会館 ※予約 ☎ 0942・30・0144

消費生活相談(来訪または電話相談)

- 月～金曜 8:30 ~ 16:30 / 八女市役所消費生活相談窓口 ☎ 23・1183

- 毎週水曜 9:00 ~ 16:00 / 黒木支所 第3相談室 ☎ 42・1111

消費生活無料法律相談 予約

- 10月20日(火) 13:00 ~ 16:00 / 八女市役所消費生活相談窓口 ※予約 ☎ 23・1183

電話相談

教育相談

- 平日9:00 ~ 17:00 / 八女市教育委員会 ☎ 0120・784・110

教育相談

- 無休・24時間受付 / 南筑後教育事務所 ※予約 ☎ 0942・52・4949

養育費電話相談

- 平日9:00 ~ 16:00 / 福岡県ひとり親家庭等就業・自立支援センター ☎ 092・584・3931

交通事故相談

- 平日9:15 ~ 17:00 / 日本損害保険協会 そんばADRセンターナビダイヤル (☎ 0570・022808)

犯罪被害者相談電話

- 平日9:00 ~ 17:45 / 県警察本部 (☎ 092・632・7830)

難病ホットライン

- 平日8:30 ~ 17:15 / 南筑後保健福祉環境事務所 (☎ 0944・72・2610)

多重債務相談

- 平日9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 / 福岡財務支局 ☎ 092・411・7291

クレジット・サラ金・

金・違法年金担保相談

- 平日18:00 ~ 20:00 / 福岡県青年司法書士協議会 (☎ 092・724・9505)

高齢者総合相談窓口(平日8:30 ~ 17:15)

【地域包括支援センター】

- 八女市地域包括(本所内) ☎ 23・1203
- 八女市東部地域包括(黒木支所内) ☎ 42・1119

【高齢者相談センター】

- 社会福祉協議会 (☎ 23・0294)
- 上陽支所 (☎ 54・3629)
- 黒木支所 (☎ 42・2131)
- 立花支所 (☎ 37・0036)
- 矢部支所 (☎ 47・3123)
- 星野支所 (☎ 52・3165)

10月に納めるもの

- 市県民税(3期) ● 国民健康保険税(4期)
- 後期高齢者医療保険料(4期) ● 介護保険料(4期)
- 住宅使用料(10月) ● 保育料(10月)
- 水道料金・下水道使用料(4期)
- 農業集落排水施設使用料(4期)
- 下水道受益者負担金(2期)

納期限・口座振替日は11月2日(月)

※納税は、安全便利な口座振替をご利用ください。納期限内の納付にご協力ください。遅れると延滞金が加算されることになります。※納付書をなくされた人は担当課へご連絡ください。

▼人口と世帯(8月31日現在)

人口	66,389	(-98)
男	31,259	(-11)
女	35,130	(-87)
世帯数	24,379	(-58)
※()内は前月比		

▼8月の異動

出生	41人	死亡	71人
転入	147人	転出	215人

▼8月の火災・救急の状況

火災出火件数	1件	(22件)
救急出動件数	295件	(2,224件)
救急搬送人数	285人	(2,156人)

▼8月の交通事故の状況

人身事故発生件数	34件	(326件)
傷者	53人	(438人)
死者	0人	(3人)

※()内は1月からの累計

おたんじょうびおめでとう

 おめでとう！これから太陽のように伸び伸びと大きくなつてね♡ 山崎 陽向ちゃん H26年10月3日生(室岡)	 元氣な笑顔の菜緒美ちゃん。お誕生日おめでとう。すくすく育つてね。 田形 菜緒美ちゃん H26年10月7日生(黒木町)	 お誕生日おめでとう。これからも元気で笑顔いっぱいであってくださいね。 上田 莉音ちゃん H26年10月9日生(蒲原)	 祝1歳！さあちゃん、いつも笑顔であいごと。健やかに育つてね。 久間 咲彩ちゃん H26年10月9日生(室岡)	 ♡祝1歳♡愛莉と仲良く元気に育つてね！ 野田 美織ちゃん H26年10月9日生(本)
 ♡祝1歳♡美織と仲良く元気に育つてね！ 野田 愛莉ちゃん H26年10月9日生(本)	 ♡祝1歳♡家族みんなに愛されて、日々成長中のしいちゃんです！ 島 静奈ちゃん H26年10月10日生(黒木町)	 ♡祝1歳♡家族の癒やし♡あいちゃん♡これから成長が楽しみです！ 原田 愛琉ちゃん H26年10月16日生(柳島)	 家族皆の癒やし♡あいちゃん♡これから成長が楽しみです！ 加藤 諤太郎ちゃん H26年10月20日生(高塚)	 さあちゃん、おにいと仲良くね♡ 野中 彩笑ちゃん H26年10月22日生(平田)
 ♡祝1歳♡おたんじょうびおめでとう！おねえちゃんと仲良くね♡ 日下部 和心ちゃん H26年10月23日生(祈禱院)	 祝1歳おめでとう♡姉ちゃんたちといっぱい遊んで大きくなあれ♡ 古賀 結彩ちゃん H26年10月27日生(山内)	 祝1歳♡このたんじょうびおめでとう♡元気に育つてね♡ 安達 心晴ちゃん H26年10月29日生(馬場)	 陽葵ちゃん1歳おめでとう♡これから可愛い笑顔いっぱいを見せてね♡ 川島 陽葵ちゃん H26年10月29日生(立花町)	満1歳のお子さまの写真を募集しています(ただし、市内に住民登録があるか実際に住んでいる人に限る)。氏名・生年月日・住所・簡単なコメント(30字以内)を添えて、誕生日前月の7日までに直接お持ちいただくか、郵送でお申し込みください。応募多数の場合は先着順となります。 ●申し込み＝秘書広報課秘書広報係 ☎23・1110

茶のくに観光案内所のおすすめスポット

No.29

日増しに秋の気配が濃くなってきました。今回は、旅する茶のくにバスツアーを紹介しします。

市制60周年記念事業として昨年度、毎月1回の周遊バスツアーを運行しました。市外からのお客様や八女を訪れたことがないお客様を対象に八女の魅力を知ってもらいたいという思いの詰まったツアーです。JR久留米駅および西鉄久留米駅を発着とし、駅まで八女市のイメージキャラクターのみどりちゃんマグネットを付けたバスで迎えに行きます。今年の4月から本格運行を始めており、茶のくにバス案内所とともに八女ならではの手仕事や季節の花々、お祭り、モノづくり体験や地元のお料理を堪能します。また、八女をよこごとん知り尽くした地元を愛する八女人ガイドが八女の魅力を語る大満



地元を愛する八女人ガイド ～とっておきの1日周遊バス～



足のツアーです。イベントや祭りの時だけではなく、普段の八女も知っていただくために平日と土日祝日を合わせた月2回の運行で予約申込はFAXのみ、申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

また、八女市民限定の「よかとこバスツアー」も年に1度開催しています。今回は9月25日(金)に上陽町にお住まいの方が星野村を観光し、10月20日(火)には星野村にお住まいの方が矢部村を観光します。その他の地域の方々のツアーも順次募集しますので、広報をご覧ください。まだまだ知らない八女の魅力を感じるバスツアーです。茶のくにバス案内所とともにめぐってみませんか？

●問い合わせ 八女観光物産館ときめき内 茶のくに観光案内所 ☎22・6644
開館 8時30分～17時15分



～ あたらしい郷土づくり ～
ふるさとの恵みを生かし
安心して心ゆたかに暮らせる
交流都市 八女

■編集・発行 八女市役所秘書広報課秘書広報係
〒834-8585 福岡県八女市本町647番地
TEL 0943・23・1110 FAX 22・2186
URL: <http://www.city.yame.fukuoka.jp/>
E-mail: mail@city.yame.fukuoka.jp
※この広報紙は竹パルプ10%配合の環境に配慮した紙を使用しています



編集後記

九州に上陸した台風15号や鬼怒川の堤防決壊、阿蘇の噴火など、自然の驚異には畏怖の念を抱くばかりです。災害の度に「備えあれば」の意識と行動が大切だと思いついていきます。(T・S)

八女福島の燈籠人形に参加していますが、ベテランの先輩方の熟練した人形遣いの技にいつも驚かされます。江戸時代からの伝統が息づく文化の素晴らしさを改めて感じています。(K・K)

レタス出荷を手伝いながら満天の星へ思いを馳せた油井亀也さん。中年だけではなく、すべての世代の希望の星です。油井さんが「本当に美しい」といった地球を守らなければ。(K・S)

FM YAME 80.1MHz NOW ON AIR!

FM八女制作番組 「がまだすワイド 801」
毎週月曜～金曜 12:30～15:00 生放送！
※20:30～22:30 まで毎日再放送しています。

